基準11　管理運営

（１）観点ごとの分析

観点11－１－①：　学校の目的を達成するために，校長，各主事，委員会等の役割が明確になっており，効果的な意思決定が行える態勢となっているか。

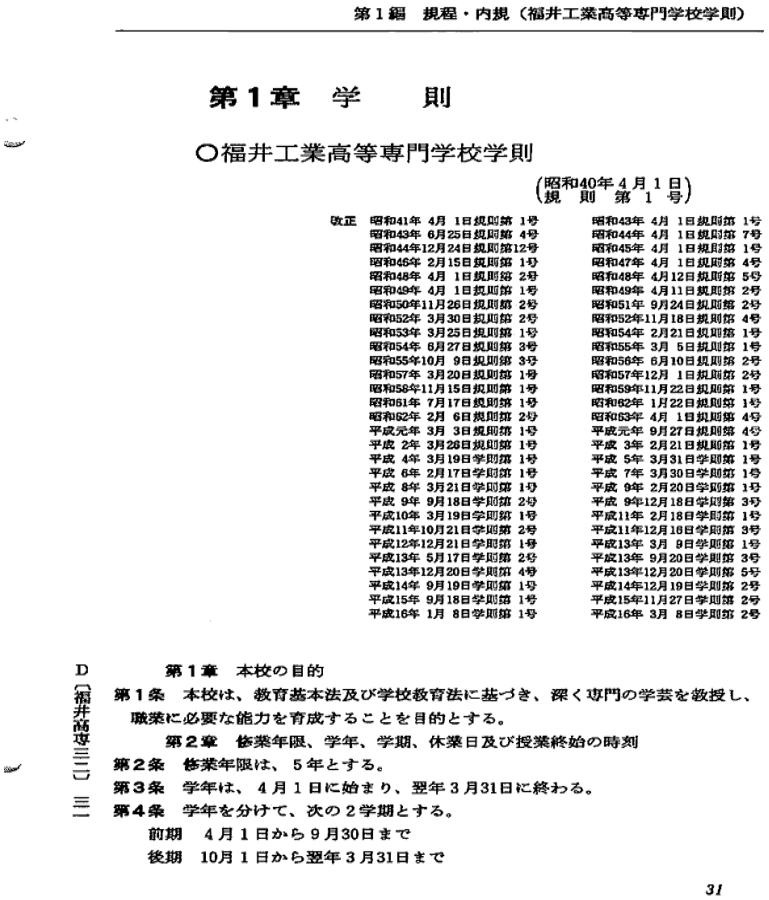
（観点に係る状況）

学校教育法第７０条の７により校長及び教授等の役割が明記されおり，校長が最終意思決定をするため，本校では校長のリーダーシップのもとに，副校長（３主事及び専攻科長）を配置し次のとおり業務を割り振り，校長を補佐している。

・教務主事は教育計画の立案，その他教務に関する事項について
・学生主事は学生の厚生補導に関する事項について（寮務主事の所掌を除く）
・寮務主事は学寮における学生の厚生補導に関する事項について
・専攻科長は専攻科の運営に関する事項について

副校長等の配置及び業務内容については「福井工業高等専門学校学則」（資料１１－１－①－１）及び「福井工業高等専門学校内部組織規則」（資料１１－１－①－２）に定められている。

（資料１１－１－①－１）
「福井工業高等専門学校学則」



第１編　規程・内規（福井工業高等専門学校学則）

第１章　学　　則

○福井工業高等専門学校学則

（昭和40年４月１日
規　則　第　１　号）

改正　昭和41年 4月 1日規則第 1号　昭和43年 4月 1日規則第 1号
昭和43年 6月25日規則第 4号　昭和44年 4月 1日規則第 7号
昭和44年12月24日規則第12号　昭和45年 4月 1日規則第 1号
昭和46年 2月15日規則第 1号　昭和47年 4月 1日規則第 4号
昭和48年 4月 1日規則第 2号　昭和48年 4月12日規則第 5号
昭和49年 4月 1日規則第 1号　昭和49年 4月11日規則第 2号
昭和50年11月26日規則第 2号　昭和51年 9月24日規則第 2号
昭和52年 3月30日規則第 2号　昭和52年11月18日規則第 4号
昭和53年 3月25日規則第 1号　昭和54年 2月21日規則第 1号
昭和54年 6月27日規則第 3号　昭和55年 3月 5日規則第 1号
昭和55年10月 9日規則第 3号　昭和56年 6月10日規則第 2号
昭和57年 3月20日規則第 1号　昭和57年12月 1日規則第 2号
昭和58年11月15日規則第 1号　昭和59年11月22日規則第 1号
昭和61年 7月17日規則第 1号　昭和62年 1月22日規則第 1号
昭和62年 2月 6日規則第 2号　昭和63年 4月 1日規則第 4号
平成元年 3月 3日規則第 1号　平成元年 9月27日規則第 4号
平成 2年 3月28日規則第 1号　平成 3年 2月21日規則第 1号
平成 4年 3月19日学則第 1号　平成 5年 3月31日学則第 1号
平成 6年 2月17日学則第 1号　平成 7年 3月30日学則第 1号
平成 8年 3月21日学則第 1号　平成 9年 2月20日学則第 1号
平成 9年 9月18日学則第 2号　平成 9年12月18日学則第 3号
平成10年 3月19日学則第 1号　平成11年 2月18日学則第 1号
平成11年10月21日学則第 2号　平成11年12月16日学則第 3号
平成12年12月21日学則第 1号　平成13年 3月 9日学則第 1号
平成13年 5月17日学則第 2号　平成13年 9月20日学則第 3号
平成13年12月20日学則第 4号　平成13年12月20日学則第 5号
平成14年 9月19日学則第 1号　平成14年12月19日学則第 2号
平成15年 9月18日学則第 1号　平成15年11月27日学則第 2号
平成16年 1月 8日学則第 1号　平成16年 3月 8日学則第 2号

D〔福井高専三〕三二

第１章　本校の目的

第１条　本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

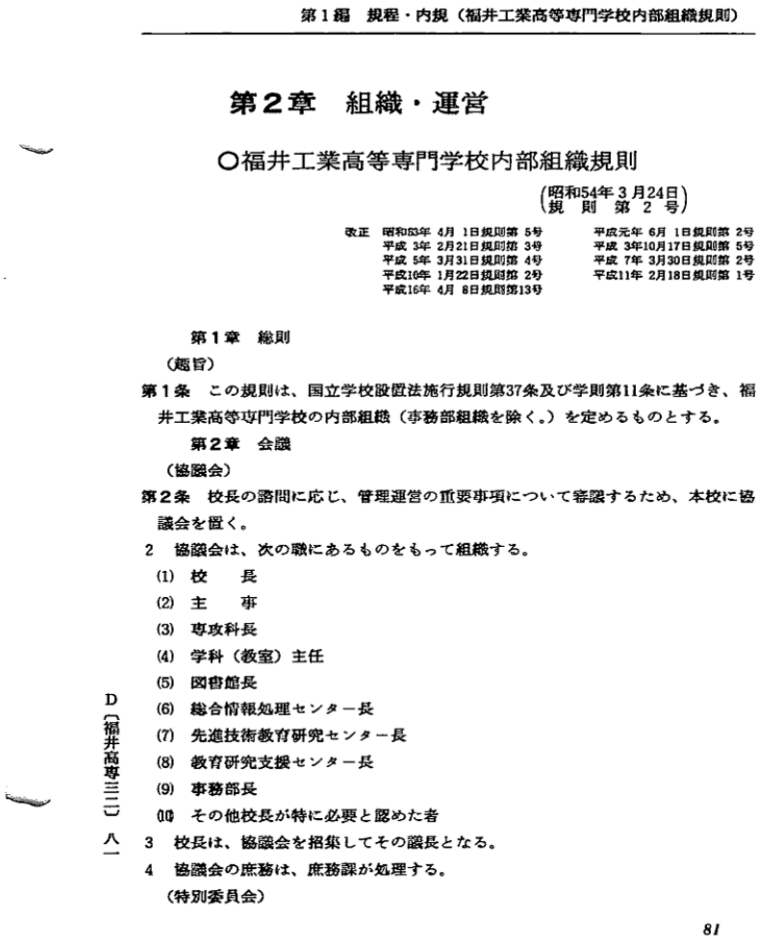
第２章　修業年限、学年、学期、休業日及び授業終始の時刻

第２条　修業年限は、５年とする。
第３条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。
第４条　学年を分けて、次の２学期とする。
前期　４月１日から９月30日まで
後期　10月１日から翌年３月31日まで

31

（出典　福井工業高等専門学校規則集）

（資料１１－１－①－２）
「福井工業高等専門学校内部組織規則」



第１編　規程・内規（福井工業高等専門学校内部組織規則）

第２章　組織・運営

○福井工業高等専門学校内部組織規則

（昭和54年３月24日
規　則　第　２　号）

改正　昭和63年 4月 1日規則第 5号　　平成元年 6月 1日規則第 2号
平成 3年 2月21日規則第 3号　　平成10年10月17日規則第 5号
平成 5年 3月31日規則第 4号　　平成 7年 3月30日規則第 2号
平成10年 1月22日規則第 2号　　平成11年 2月18日規則第 1号
平成16年 4月 8日規則第13号

第１章　総則

（趣旨）

第１条　この規則は、国立学校設置法施行規則第37条及び学則第11条に基づき、福井工業高等専門学校の内部組織（事務部組織を除く。）を定めるものとする。

第２章　会議

（協議会）

第２条　校長の諮問に応じ、管理運営の重要事項について審議するため、本校に協議会を置く。

２　協議会は、次の職にあるものをもって組織する。

(1) 校　　長
(2) 主　　事
(3) 専攻科長
(4) 学科（教室）主任
(5) 図書館長
(6) 総合情報処理センター長
(7) 先進技術教育研究センター長
(8) 教育研究支援センター長
(9) 事務部長
(10) その他校長が特に必要と認めた者

３　校長は、協議会を招集してその議長となる。

４　協議会の庶務は、庶務課が処理する。

（特別委員会）

81

D（福井高専三二）八一

（出典　福井工業高等専門学校規則集）

また，校長の命により設置された各種委員会では定められた審議事項等を検討し，その結果を本校の最高議決権を有する協議会（構成員：校長，各主事，専攻科長，各学科(教室)主任，図書館長，各センター長，事務部長，その他校長が必要と認めた者）やそのもとに置かれている将来構想検討委員会，自己点検・評価委員会，施設整備委員会に諮り，審議を経て実行に移している。

具体的には「観点３－２－②の観点に係る状況」のとおり，ＰＤＣＡサイクル（前出資料２－２－②－１，別添「学校要覧」２９頁）により実行している。例えば，技術者教育プログラムの認定を得るため，校長の命によりＪＡＢＥＥ対策委員会を発足（「協議会議事要旨」（資料１１－１－①－３），「ＪＡＢＥＥ対策委員会議事要旨」（資料１１－１－①－４））させ，受審のための予備準備を行い，次に具体的な対応をするために対策委員会をＪＡＢＥＥ委員会（「協議会議事要旨」（資料１１－１－①－５），「ＪＡＢＥＥ委員会規則」（資料１１－１－①－６），「ＪＡＢＥＥ委員会議事要旨」（資料１１－１－①－７））に発展させ，資料の収集や会議を重ねるとともに主な事項を協議会に報告（「協議会議事要旨」（資料１１－１－①－８））しＪＡＢＥＥ受審に向けて準備した。その結果，平成１７年５月にＪＡＢＥＥ技術者認定プログラムに認定されたが，事項によっては再考しなければならいため，ＪＡＢＥＥ委員会で現在も検討している。

（資料１１－１－①－３）

「協議会議事要旨」

平成１３年１１月定例協議会議事要旨

日　　時　平成１３年１１月６日（火）１６：３０～１７：３０
場　　所　校 長 室
出 席 者　校長、教務主事、学生主事、寮務主事、専攻科長、
仲西、北、澤井、松井、廣部、前田、朝倉各学科（教室）主任、
総合情報処理センター長、先進技術教育研究センター長、事務部長
列 席 者　庶務課長、会計課長、庶務係長

Ⅰ　審議事項

１　福井工業高等専門学校教員選考規則（案）について

校長から、前回の協議会で提案した「教員選考規則の骨子（案）」について、各学科（教室）会議での議論を受けて修正した「教員選考規則（案）」を審議したい旨の説明があった。続いて事務部長から、修正箇所の説明があり、また各学科（教室）主任からは、各学科（教室）会議での議論内容について報告があった。

審議の結果、専攻科の部分を切り離した選考規則（案）を来週中に委員の方に提案し、その後の協議会で審議することになった。

Ⅱ　報告事項

１　校長報告

①　平成１４年度校務分掌について

校長から、寮務主事を島田茂教授にお願いしている旨報告があり、他の校務分掌については、各学科（教室）で計画を進めるよう依頼があった。

②　平成１３年度秋季東海・北陸地区国立高等専門学校長会議について

校長から報告があった。

③　ＪＡＢＥＥの対応について

校長から、JABEE対策委員会の委員長に機械工学科安丸教授にお願いした旨報告があり、安丸教授から今後の活動について説明があった。

（出典　庶務課）

（資料１１－１－①－４）

「ＪＡＢＥＥ対策委員会議事要旨」

JABEE対策委員会引継ぎに関する打合せ会議事要旨

日　　時　平成１５年５月１５日（木）１５：００～１５：５５
場　　所　会 議 室（１５名出席）
出 席 者　教務主事、教務委員会委員（大久保、野村、豊田）、
専攻科委員会委員（藤田、小泉、壬生）、
JABEE対策委員会委員（安丸、大久保、青山、豊田、阿部、戸島）
列 席 者　学生課長、専門員、教務係長、庶務係長

Ⅰ　議　題

１　「JABEE委員会」と「教育改善委員会」について

教務主事から以下の説明があった。

この２つの委員会規則については、５月１日の協議会で審議了承され、５月２２日に開催される教官会議で決定されることになっている。

・JABEE委員会の委員は、

1. 教務主事
2. 専攻科長
3. 教務委員会委員
4. 専攻科委員会委員
5. その他校長が特に必要と認めた者

となっていて、5.については、特にJABEEに大切な学科の先生を、JABEE委員長が校長にお願いをして指名してもらうことになっている。これら全てを２２日に規則が出来次第、校長が任命することになっている。さらに、委員長はこの委員の中から校長が指名することになっている。また、JABEE委員会の業務は、「JABEEに関すること」を行うということである。

（出典　スカイボード）

（資料１１－１－①－５）
「協議会議事要旨」

平成１５年５月定例協議会議事要旨

日　　時　平成１５年5月1日（木）１５：００～１６：２５
場　　所　校　長　室
出 席 者　校長、教務主事、学生主事、寮務主事、専攻科長、事務部長、
　　廣重、朝倉、阪口、新谷、井上(昭)、松井(修)、前島各学科(教室)主任、
　　総合情報処理センター長、（井上（昭）先進技術教育研究センター長）
列 席 者　庶務課長、会計課長、学生課長、学生課専門員、庶務係長

校長から前回の議事要旨の確認が求められ了承された。

Ⅰ　審議事項
　１　福井工業高等専門学校JABEE委員会規則（案）及び福井工業高等専門学校教育改善委員会規則（案）の制定について
　　教務主事から、JABEE対応の学内体制についてこれまでの検討状況説明があり、３月に示していた案が、今回の２委員会規則（案）になった経緯・趣旨説明があった。続いて、庶務課長から２委員会規則（案）について説明があった。種々意見交換の後、原案どおり了承された。

（出典　スカイボード）

（資料１１－１－①－６）　「福井工業高等専門学校ＪＡＢＥＥ委員会規則」

○福井工業高等専門学校ＪＡＢＥＥ委員会規則

（平成15年５月22日規則第４号）

（設置）
第１条　本校に、日本技術者教育認定機構（以下「ＪＡＢＥＥ」という。）における技術者教育プログラムの認定審査に対応するため、福井工業高等専門学校ＪＡＢＥＥ委員会（以下「委員会」という。）を置く。
（委員会の組織）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
(1)　教務主事
(2)　専攻科長
(3)　教務委員会委員　　若干名
(4)　専攻科委員会委員　　若干名
(5)　その他校長が特に必要と認めた者
（委員長）
第３条　委員会に委員長を置き、校長が指名する者をもって充てる。
２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
（委員以外の者の出席）
第４条　委員長は、必要に応じて委員会に委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。
（委員会の任務）
第５条　委員会の任務は、次のとおりとする。
(1)　ＪＡＢＥＥの認定審査及び関連する事項の調査に関すること。
(2)　その他ＪＡＢＥＥに関すること。
（事務）
第６条　委員会に関する事務は、庶務課において処理する。
附　則
この規則は、平成15年５月22日から施行する。

D〔福井高専三〕一〇九

（出典　福井工業高等専門学校規則集）

（資料１１－１－①－７）
「ＪＡＢＥＥ委員会議事要旨」

ＪＡＢＥＥ委員会議事要旨（第１回）

日　　時　　平成１５年５月２９日（木）１７：４５～１８時１５分
場　　所　　校長会議室
出 席 者　　校長、教務主事、専攻科長、藤田、大久保（茂）、青山、小泉、
　　豊田、阿部、中谷
列 席 者　　事務部長、庶務課長

まず校長から、今後の高専を取り巻く状況について説明があり、そういう中でのJABEE対応について説明があった。

１　本校の平成１６年度受審について
　校長から法人化後の本校の評価等を考えると、JABEEを受審してそれに合格していることが必要であると説明があり、平成１６年度にJABEEを受審する旨の方針が示された。

（出典　スカイボード）

（資料１１－１－①－８）
「協議会議事要旨」

平成１５年１１月定例協議会議事要旨

日　　時　　平成１５年１１月６日（木）１５：００～１６：２０
場　　所　　校長会議室
出 席 者　　校長、教務主事、学生主事、寮務主事、専攻科長、事務部長、
　　阪口、新谷、井上（昭）、松井(修)、前島各学科(教室)主任、
　　総合情報処理センター長、豊田JABEE委員長
代理出席者　　小寺、坪川（武）
欠 席 者　　廣重主任、朝倉主任
列 席 者　　会計課長、学生課長、専門員、庶務係長

議事に先立ち、校長から前回の議事要旨の確認が行われ了承された。

Ⅰ　審議事項
　１　福井工業高等専門学校学則の一部改正（案）について
　　教務主事から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
　２　福井工業高等専門学校研究紀要規則の一部改正（案）について
　　庶務係長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
Ⅱ　報告事項
　１　校長報告
　　①　平成１５年度国立高等専門学校協会校長懇談会について
　　校長から資料に基づき報告があった。教職員一人一人が確実にその内容を把握することが法人化に対応することになり､校長から特に以下のことが強調された。
　　○３つの評価を受ける
　　・高専機構が独立行政法人評価委員会国立高等専門学校部会（文部科学省）の評価を受ける＜間接評価＞
　　・本校が大学評価・学位授与機構の評価を受ける＜直接評価＞
　　・本校が高専機構の評価を受ける＜直接評価＞
　　○個性的中期計画の策定と達成状況による実績
　　○各学校の中期計画に盛り込まれていた事項の例
　　○数値化できる高専評価項目
　　②　平成１５年度東海・北陸地区国立高等専門学校長会議について
　　校長から報告があった。
　　③　ＪＡＢＥＥ委員会委員の増員について
　　校長から報告があった。

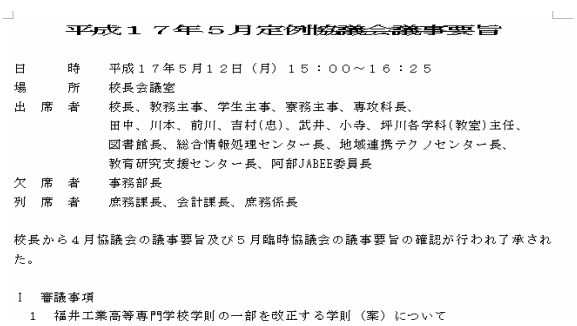
（出典　スカイボード）

この協議会は毎月第一木曜日を定例日として開催し，必要に応じて臨時に開催することもある。

なお，これらの決定事項等（議事要旨）は学内ＬＡＮによるグループウェア（資料１１－１－①－９）で全教職員が閲覧できる体制になっている。この他にも必要事項については専任の教授，助教授，講師及び助手で組織する教員会議並びに事務職員（事務部長，各課長，専門職員，各係長）及び技術職員（技術長，各班長）で組織する事務連絡会議にて周知している。

（資料１１－１－①－９）

「学内ＬＡＮによるグループウェア」



（出典　スカイボード）

（分析結果とその根拠理由）

本校においては，校長のリーダーシップのもとに副校長，図書館長，各センター長及び事務部長等が配置されており，また，協議会を含め４０を超える委員会等も整備され機能しているとともに，その議事の周知方法についても構築されており，学校の目的達成に向け効果的な意思決定が行える態勢となっている。

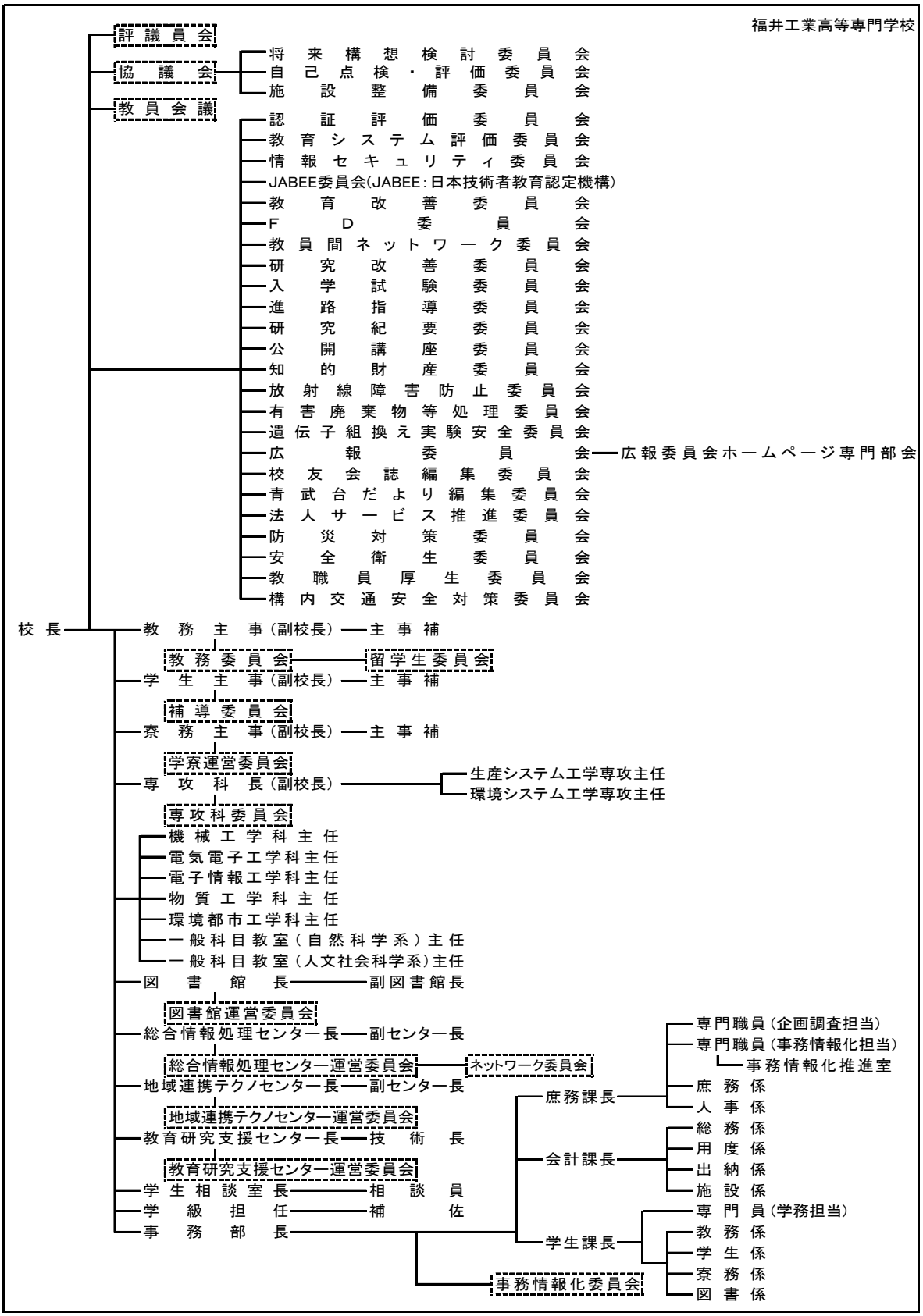
観点11－１－②：　管理運営に関する各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し，効果的に活動しているか。

（観点に係る状況）

管理運営組織は「運営組織図」（資料１１－１－②－１）のとおり，各委員会の役割は「福井工業高等専門学校規則集抜粋」（資料１１－１－②－２）において明確に定められている。また，教員は各学科に所属し，それぞれの校務を「校務分掌表」（資料１１－１－②－３）のとおり行なっている。

（資料１１－１－②－１）

「運営組織図」



（出典　学校要覧）

（資料１１－１－②－２）

「福井工業高等専門学校規則集抜粋」

「規則及び各種委員会の目的等」

福井工業高等専門学校

規則(委員会等)	構成メンバー	目的又は主な職務内容
福井工業高等専門学校学則	校長，教授，助教授，講師，助手，事務職員，技術職員	教育基本法及び学校教育法に基づき深く専門の学芸を教授し，職業に必要な能力を育成することを目的とする。
内部組織規則	校長，主事，専攻科長，学科(教室)主任，図書館長，総合情報処理センター長，地域連携テクノセンター長，教育研究支援センター長，事務部長，その他校長が特に必要と認めた者	国立学校設置法施行規則第37条及び学則第11条に基づき内部組織(事務部組織を除く)
(協議会)		管理運営の重要事項について審議(定期的に毎月1回及び必要に応じ臨時に開催)
事務組織規則	事務部長，課長，専門員，専門職員，係長，係員	国立学校設置法施行規則第36条及び学則第10条に基づく事務部組織
教員会議	専任の教授，助教授，講師，助手	校長の諮問した事項，学生の入学・卒業・懲戒等に関する判定，諸規定の制定・改廃の審議
評議員会	本校教職員以外の有識者10名以内	教育研究目標・計画，自己評価，その他本校の運営に関する重要事項の審議及び評価
将来構想検討委員会	校長，主事，専攻科長，地域連携テクノセンター長，事務部長，その他校長が特に必要と認めた者	将来を展望した在り方について調査審議
自己点検・評価委員会	校長，主事，専攻科長，学科(教室)主任，図書館長，総合情報処理センター長，地域連携テクノセンター，教育研究支援センター，事務部長	高等専門学校学設置基準第3条に規定する自己点検・評価を実施する際の必要な事項について審議
施設整備委員会	教務主事，学科主任が推薦する者各学科1名，教室主任が推薦する者各学科1名	施設及び設備の有効活用に関すること，施設・設備及び環境整備の点検・評価に関すること，点検・評価等調査結果による使用面積の再配分にかんすること，その他施設設備に関する専門的事項
認証評価委員会	教務主事，総合情報処理センター長，総合情報処理センター運営委員若干名，庶務課長，会計課長，学生課長，その他校長が特に必要と認めた者	機関別認証評価及び関連する事項の調査，その他機関別認証評価に関すること
教育システム評価委員会	主要10委員会の構成員各1名，その他教員1名	自己点検・評価に基づく改善の指針，外部評価並びに第三者評価に基づく改善の指針，その他教育システムの改善に関する審議
情報セキュリティ委員会	校長，教務主事，学生主事，専攻科長，学科(教室)主任，教育研究支援センター長，総合情報処理センター長，事務部長	情報セキュリティポリシーの策定及び改訂，情報セキュリティポリシーの遵守の励行及び違反に対する措置，情報セキュリティに関する啓発及び教育，その他情報セキュリティに関する重要事項の審議
ＪＡＢＥＥ委員会	教務主事，専攻科長，教その他員14名	JABEEの認定審査及び関連する事項の調査
教育改善委員会	教務主事，各学科(教室)から教員1名，その他校長が特に必要と認めた者	学習・教育目標に基づく教育の実施，教育効果の現状分析，教育方法の改善及び教育技術の向上，教員の業績評価，その他教育改善の推進に関すること
ＦＤ委員会	JABEE委員長，主事，専攻科長，教育改善委員6名，その他教員1名，事務部長	FDに関する企画立案・情報収集，FDに関して収集した情報の教員等への提供，FDに関する講演会及び研修会等の企画・実施，その他FDに関すること
教員間ネットワーク委員会	教務主事，各学科(教室)から教員1名，その他校長が特に必要と認めた者	専門科目と一般科目の連携を図ること，各専門基礎科目の連携を図ること，同系科目間の連携を図ること，非常勤講師との連携を図ること，その他教員間ネットワークに関すること
研究改善委員会	教務主事，各学科1名，一般科目教室1名，その他校長が特に必要と認めた者	研究環境の改善，教員の研究業績評価，その他研究の推進に関すること
入学試験委員会	教務主事，教務主事補，学科(教室)主任，事務部長	学生募集，入学者選抜の実施，入学者選抜の合格候補者の選考に関する事項の審議
進路指導委員会	教務主事，学生主事，専攻科長，学科(教室)主任，専攻科委員，3・4・5年学級担任，学生課長	学生の進学，学生の就職，その他校長が特に諮問した事項について審議
研究紀要委員会	各学科及び各教室より教員1名	研究紀要の発行計画，論文の募集及び審査，研究紀要の編集，研究紀要の配布先，その他研究紀要の編集及び発行に関する事項の審議
公開講座委員会	教務主事，学科(教室)主任，庶務課長	公開講座に実施に関する企画立案及び連絡調整
知的財産委員会	地域テクノセンター長，教育研究支援センター長，専攻科から推薦された教員1名，各学科(教室)から推薦された教員1名，庶務課長，会計課長	教職員等の職務発明等に係る発明の特許性及び市場性の評価並びに帰属の予備審査，知的財産の権利化，知的財産の活用に関する審議
放射線障害防止委員会	教務主事，放射線取扱主任者，放射線発生装置を使用している教員から校長が任命する4名，庶務課長，会計課長，その他校長が特に必要と認める者	放射線障害に対する対策及び処置，放射線施設及び装置の新設・拡充並びに改廃等，放射線障害予防に必要な校内規則等の制定及び改廃，その他放射線障害防止に関し必要な事項の審議
有害廃棄物等処理委員会	産業廃棄物管理責任者，各学科教員1名，教室(自然科学系)教員1名，技術職員1名，会計課長，その他校長が特に必要と認めた者	有害廃棄物等の処理方法，処理施設の整備，環境汚染の防止，規則等の制定及び改廃，その他有害廃棄物等に関する必要な事項に関する審議
遺伝子組換え実験安全委員会	安全主任者，実験責任者若干名，実験に関係しない教員若干名，地域連携テクノセンター長，教育研究支援センター長，庶務課長，その他校長が必要と認める者若干名	実験に関する校内規則等の制定及び改廃，実験計画と法及び省令並びに校内規則等に対する適合性，実験に係る教育訓練及び健康管理，事故発生の際の必要な処置及び改善，その他実験の安全確保に関し必要な事項の処理に関する審議
広報委員会	主事，図書館長，総合情報処理センター長，地域連携テクノセンター長，課長，その他校長が特に必要と認めた者	広報活動の基本方針及びその他必要と認められる事項を審議する
広報委員会ホームページ専門部会	総合情報処理センター長，同センター員，図書館長，課長，広報委員会委員長が指名する者若干名	ホームページの運営方法及び維持管理，ホームページの企画及び拡充，その他ホームページに関することの審議とその業務
校友会誌編集委員会	学生主事，図書館長，各学科教員1名，各教室教員1名	学生，職員及び卒業生の意見等を発表し，校友相互の理解と向上を図ることを目的とした校友会誌の編集方針，名称，発行計画，配布先，その他校友会誌の編集・発行等に関することの審議

（出典　福井工業高等専門学校規則集）

（資料１１－１－②－２）

「福井工業高等専門学校規則集抜粋」

青武台だより編集委員会	学生主事，学生主事補1名，各学科教員1名，教室教員1名，学生課長	学生の学校生活，学校行事等厚生補導に関する広報誌（青武台だより）の編集方針，掲載記事，発行計画，その他青武台だよりの編集・発行等に関することの審議
法人サービス推進委員会	主事，図書館長，事務部長，課長	窓口サービス業務，施設の公共利用サービス，国民と接触する公務サービスについて審議
防災対策委員会	防災管理者（事務部長），主事，専攻科長，学科（教室）主任，課長	防災計画，災害予防，災害応急対策，災害復旧・復興，その他防災に関することについて審議
安全衛生委員会	教務主事，衛生管理者，安全管理者，産業医，衛生に関する経験者1名，安全に関する経験者2名	教職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策，教職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策，労働災害の原因及び再発防止対策で衛生に係るものに関する審議
教職員厚生委員会	校長が任命する教員6名，校長が任命する事務・技術職員5名	職員厚生事業の企画・運営，その他職員厚生事業に関することを審議
構内交通安全対策委員会	主事，各学科（教室）教員6名，事務部長	構内の交通規制，駐車場，その他構内の交通安全に関することを審議
教務委員会	教務主事，教務主事補，学科（教室）主任，学生課長	教育課程及び授業時間割の編成等授業実施，特別活動・学校行事等，退学・休学・進級及び卒業の認定等，その他教務に関する重要事項の審議
留学生委員会	教務主事，学生主事補，寮務主事，留学生主任，留学生指導教官4名，学生課専門員	留学生の教育課程編成その他留学生に関し必要な事項を審議
補導委員会	学生主事，学生主事補，寮務主事，学級担任，学生課長	学生の保健管理，福利厚生，規律及び風紀，育英奨学，学生会，その他学生の補導に関する重要な事項の審議
学寮運営委員会	寮務主事，学生主事，各学科・各教室から教員1名，学生課長	学生の入寮及び退寮，寮生の指導，学寮の施設・設備の管理，寮生の保健衛生・福利厚生，その他学寮の運営上重要な事項の審議
専攻科委員会	専攻科長，専攻主任，学科（教室）教員5名，学生課長	専攻科にの入学者選抜等，教育課程の編成及び教育計画の立案，学生の進学及び就職，学生の厚生補導，その他専攻科の運営に関すること
図書館運営委員会	図書館長，副図書館長，各学科及び各教室の教員1名，事務部長，学生課長	図書館の運営，図書の選定，その他図書館に関する重要な事項の審議
総合情報処理センター運営委員会	総合情報処理センター長，副センター長，教務主事，図書館長，各学科（副センター長所属の学科を除く）及び教室の教員1名，事務部長，その他校長が特に必要と認めた者	情報処理に関する教育・研究への支援及び普及，マルチメディアを利用した情報教育，センターの予算，センターの利用，その他センターの管理運営に関する事項の審議
ネットワーク委員会	総合情報処理センター長，副センター長，教務主事，図書館長，庶務課長，ネットワーク支線管理者，総合情報処理センター員	ネットワークの利用環境の整備・充実，利用者に対する技術的支援及び知識の普及，運用・保守，将来計画，本校と学外機関との接続に関する事項の審議
地域連携テクノセンター運営委員会	地域連携テクノセンター長，副センター長，各学科及び各教室の教員1名，その他校長が必要と認めた者	センターの業務計画，予算，その他センターに関する重要事項の審議
教育研究支援センター運営委員会	教育研究支援センター長，各学科及び各教室の教員1名，総合情報処理センター長，地域連携テクノセンター長，技術長，技術班長	教育研究支援センターの運営に関する基本方針，業務，技術職員の配置計画，学科・教室等との連絡調整，その他センターの運営に関し必要な事項の審議
事務情報化委員会	事務部長，課長，事務情報化推進室長（専門職員事務情報化担当），その他事務部長が特に必要と認めた者	事務情報化推進の基本方針の決定，実施計画の策定，研修会の企画及び実施，その他事務情報化の推進に関する事項の審議

（出典　福井工業高等専門学校規則集）

（資料１１－１－②－３）

「校務分掌表」

平成１７年度　校務分掌表　　校長の校務分掌（協議会，将来構想検討委員会，自己点検・評価委員会、情報セキュリティ委員会）

学科	氏名	その他の役職等（ ）内は補，補佐又は副	学級担任（補）	協議会	将来構想検討委員会	施設整備委員会	認証評価委員会	自己点検評価委員会	教育システム評価委員会	情報セキュリティ委員会	JABEE委員会	教育改善委員会	FD委員会	教員間ネットワーク委員会	研究改善委員会	専攻科委員会	教務委員会	留学生委員会	補導委員会	学寮運営委員会	入学試験委員会	進路指導委員会	研究紀要委員会	公開講座委員会	知的財産委員会	放射線障害防止委員会	有害廃棄物等処理委員会	遺伝子組換え実験安全委員会	図書館運営委員会	総合情報センター運営委員会	ネットワーク委員会	地域連携テクノセンター運営委員会	教育研究支援センター運営委員会	広報委員会	広報委員会ホームページ専門部会	校友会誌編集委員会	青武台だより編集委員会	法人サービス推進委員会	防災対策委員会	安全衛生委員会	教職員厚生委員会	構内交通安全対策委員会	部・同好会	
機械工学科	阪口健一																											○				○			○	○								阪口
	井上清一	学生相談室長，計測制御部門長，（主任）													◎			○																										井上
	安丸尚樹	副校長・学生主事，材料副部門長		○	○			○		○			○						◎	○		○				○		○						○		○	◎	○	○			○	ハンドボール	安丸
	吉崎保夫		5M			○													○			○																						吉崎
	田中嘉津彦	主任	（4M）	○				○	◎	○							○				○	○		○	○														○					田中嘉
	加藤寛敬	（地域連携テクノセンター長）	（F1）		○						○					○						○					○					○												加藤
	藤田克志	（教務主事）	（5M）						○		○	○	○	○			○				○																						藤田
	芳賀正和	支線管理者(M棟)	3M				○												○			○									○												ハンドボール	芳賀
	村中貴幸		4M																○			○																				○	バスケ（男）	村中
	鈴木秀和	情報センター員	（2M）						○											○										○	○				○									鈴木
	岡田将人	（寮務主事）																					○																		○		バスケ（女）	岡田
電気電子工学科	新谷邦弘	（学生主事）	（2E）																○																	○								新谷
	前多信博	図書館長，（主任），放射線取扱主任者		○				○																		○			◎	○	○		○	○	○	◎		○					エレクトロメーキング	前多
	原田望	支援センター長，計測制御副部門長，教員会議議長	5E	○		○		○		○					○				○			○			○			○					◎							○			ソーラープレーン	原田
	大久保茂	副校長・専攻科長		○	○			○		○	○		○			◎						○	○																○					大久保
	川本・	主任		○				○		○							○				○	○		○	○		○												○				ソーラーカー	川本
	山本幸男	（教務主事）	（F2）									○	○	○			○				○											○												山本
	荒川正和		4E				○		○										○			○																				○	ブラスバンド	荒川
	佐藤匡		（5E）								○					○						○			○																○			佐藤
	米田知晃		3E								○								○	○		○															○						バスケ（男）	米田
	丸山晃生	（寮務主事），情報センター員，支線管理者(E棟)	（4E）																											○	○				○								剣道	丸山
電子情報工学科	藤原正敏	（寮務主事）	（5Ei）																													○											ソフトテニス	藤原
	井上昭浩	（学生主事）							○						○				○						○	○	○													○	○			井上
	蘆田昇	情報センター長，（主任）	（F5）	○			○	○		○													○							◎	◎		○	○	◎								陸上	蘆田
	前川公男	主任	（4Ei）	○				○		○							○				○	○		○				○					○						○			○	天文	前川
	野村保之	（教務主事）	（2Ei）		○		○					○	○	○			○				○																							野村
	下條雅史	生産システム工学専攻主任，情報処理部門長，教員会議議長				○					○					○						○							○														ソフトテニス	下條
	青山義弘		5Ei																○	○		○																					卓球	青山
	斉藤徹	支線管理者(EI棟)，情報処理副部門長	4Ei				○				○							○	○			○									○												バドミントン	斉藤
	高久有一	情報センター員，支線管理者（専攻科棟・学寮	3Ei				○											○	○			○								○	○				○								卓球，日本経済学	高久
	石川和彦																																										フィッシング	石川
	西仁司																																			○	○							西
物質工学科	松井修一	学生相談員	（2C）																									○													○		松井
	吉村芳武	特別管理産業廃棄物管理責任者	（4C）											○								○				◎														◎			吉村芳
	吉村忠與志	主任，安全主任者	（5C）	○				○		○							○				○	○		○			○	◎					○						○				フィッシング	吉村忠
	小泉貞之	（主任），環境部門長，環境システム工学専攻主任									○					○						○				○																	小泉
	上島晃智	地域連携テクノセンター長，バイオ部門長，支線管理者（地セ棟）		○	○		○	○																	◎			○				◎	○	○									バドミントン	上島
	津田良弘	（教務主事）	（F3）		○		○				○	○	○	○			○			○	○															○							津田
	常光幸美																																											常光
	髙山勝己		5C																○			○			○			○																高山
	平井惠子	情報センター員	3C															○	○			○								○	○				○								茶道	平井
	加藤敏		4C			○													○			○																					水泳	加藤
	松井栄樹	（学生主事）																	○																		○							松井
	大嶋俊一	（寮務主事），支線管理者(C棟)																													○												サッカー	大嶋
	川村敏之																										○																川村
環境都市工学科	前島正彦	（主任）	（2B）																						○				○													○	囲碁・将棋	前島
	廣部英一		5B			○												○	○			○														○							廣部
	武井幸久	主任	（5B）	○				○		○					○		○				○	○	◎	○									○						○					武井
	山田幹雄	（寮務主事）																				◎																					山田
	阿部孝弘		4B	○							◎		◎						○			○																					バスケ（男）	阿部
	奥村充司	バイオ副部門長									○					○						○				○	○	○															野球	奥村
	吉田雅穂	環境副部門長																																										吉田
	辻子裕二	（地域連携テクノセンター長）	3B		○		○												○			○										○									○		空手，囲碁，ソフトボー	辻子
	辻野和彦	（教務主事），支線管理者(B棟)，留学生主任	（F4）									○	○	○			○	○			○										○	○					○							野球	辻野
	田安正茂	（学生主事），情報センター員	（4B）															○	○	○										○	○				○								空手，バレー（男），ソフ	田安
一般科目教室（自然系）	坪川武弘	主任		○				○		○							○				○	○		○	○														○				バレー（女）	坪川
	長水壽寛	学生相談員	（3M）								○																																サッカー	長水
	宮田一郎		F1																○				○																				柔道	宮田
	柳原祐治		2E																○																	○							柳原
	井之上和代		2C																○																								ペーパークラフト	井之上
	朝倉相一		F5			○			○										○														○										バレー（男）	朝倉
	中谷実伸	（総合情報処理センター長）	F2						○										○											○	○				○								剣道	中谷
	岡本拓夫		2B																○	○												○											天文，少林寺	岡本
	太田泰雄	副校長・教務主事，材料部門長，職員相談員		○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	○		◎	◎			◎	○		◎		◎				○	○			◎				◎	○	◎		◎	ラグビー，合気道	太田
	北浦守		（3B）						○		○					○						○															○						テニス	北浦
	山本裕之	（学生主事），（主任）													○				○								○																バレー（女），写真	山本
	島田茂	副校長・寮務主事		○	○			○					○					○	○	◎														○				○	○			○	テニス	島田
	小林秀紹	（教務主事）			○		○					○	○	○			○				○																							陸上，アコースティック	小林
	山田孝禎								○																			○															山田孝
一般科目教室（人文系）	前田安信	（学生主事），（主任）	（3C）																○	○																						○	野球	前田
	大久保弦	（寮務主事）																																		○								大久保
	中村・秀	（図書館長）	2M								○								○										○														モダンミュージック	中村
	森芳周																																○											森　芳
	廣重準四郎		F3												○				○				○																					廣重
	荻野繁春	支線管理者（一般教育棟）	2Ei																○												○												文芸	荻野
	小寺光雄	主任		○				○		○							○				○	○		○	○														○				英語，映画制作	小寺
	森貞	教員会議議長	（3Ei）								○					○						○																					モダンミュージック	森　貞
	原口治		F4			○													○																					○		英語	原口
	・川直美	職員相談員，学生相談員	（3E）																																								バスケ（女）	瀬川
	吉田三郎				○																											○												吉田三
事務部・教育研究支援センター	事務部長	防災管理者		○	○			○		○											○								○	○								○	◎			○		事務部長
	庶務課長	セクシュアル・ハラスメント職員相談員					○																	○	○	○		○			○			○	○			○	○					庶務課長
	会計課長	安全管理者				○	○																		○	○	○							○	○			○	○	○				会計課長
	学生課長						○									○	○		○	○		○							○					○	○		○	○	○					学生課長
	専門職員(情報)	事務情報化推進室長，情報センター員，支線管理者(管理棟)																												○				○									専(情報)
	人事係長																																							○			人事係長
	総務係長																																							○			総務係長
	専門員(学務)																○																										専門員
	技術長																															○											技術長
	第一技術班長																															○											第一班長
	第三技術班長																															○											第三班長
	山本益示	支線管理者(図書館棟)																												○													山本益
	三好敦子	セクシュアル・ハラスメント職員相談員																																									三好
	荒木俊幸																																					○				荒木
	大西淑子	衛生管理者																																					○				大西
	片岡裕一																								○																	片岡
	西野正敏																																						○			西野
	立花健二																																						○			立花
	岩田憲保																																						○			岩田
	孝久和郎																																						○			孝久
	朝倉奈苗																																						○			朝倉
	野尻裕之	産業医																																				○				野尻

（出典　庶務課）

本校では協議会で管理運営（重要事項）について審議し，その結果を各々担当する委員会（将来構想検討委員会，自己点検・評価委員会，情報セキュリティ委員会等）に割り当て，各委員会において検討し，担当の部署で計画・実施している。また，各委員会には事務部の代表として事務部長又は当該担当課長が委員として出席し，委員会の決定事項を末端までリアルタイムに周知している。さらに，事務部長及び各課長で構成する「部課長会」を月に２回開催し，各課の懸案事項等について協議を行い，共通認識の下に業務にあたっている。また，その内容について，事務連絡会議（「事務連絡会議事次第」（資料１１－１－②－４））で報告することにより，事務職員及び技術職員の担当者に直接周知する体制を整えている。

一方，平成１６年度には技術職員の効率のよい業務体制を構築するとともに，教育研究の支援強化を図るため，各学科等に所属していた技術職員を集中化し，教育研究支援センターを設置した。（「教育研究支援センター規則」（資料１１－１－②－５））

（資料１１－１－②－４）
「事務連絡会議事次第」

５　月　事　務　連　絡　会　議　事　次　第

日　時　　平成１７年5月２５日（水）１５：００～
場　所　　管理棟２Ｆ会議室
報告・連絡事項

１　各課・各係報告
(1) 庶務課関係
ア　本校の技術者教育プログラムの認定について【庶務係長説明】
イ　法人文書ファイル管理簿の更新作業について【庶務係長説明】
ウ　平成１７年度構内環境美化実施計画について【庶務係長説明】　（資料１）
エ　地域連携協定の締結について【柴田専門職員説明】　（資料２）
オ　その他
・科学研究費補助金の採択順位（高専間第１位、高等教育機関間 297 位）

(2) 教育研究支援センター関係
ア　その他

(3) 会計課関係
ア　平成１７年度防災訓練(10/6)について【総務係長説明】
イ　その他

(4) 学生課関係
ア　その他
・中学校訪問（滋賀県内 6/21-7/5　６回）
・専攻科入試（6/5 推薦選抜試験　6/8 合格判定会議　6/10 合格発表）
・５／２８　舞鶴高専との交歓試合
・５／３１　ロボコン校内審査
・５／２５　ブックハンティング

２　その他

（出典　スカイボード）

（資料１１－１－②－５）
「教育研究支援センター規則」

第1編　規程・内規（福井工業高等専門学校教育研究支援センター規則）

○福井工業高等専門学校教育研究支援センター規則

（平成16年3月8日 規則第10号）

（設置）
第1条　福井工業高等専門学校（以下「本校」という。）に福井工業高等専門学校教育研究支援センター（以下「センター」という。）を置く。
（目的）
第2条　センターは、本校において教育研究支援に携わる技術職員（以下「技術職員」という。）の技術業務を組織的かつ効率的に行うとともに、その専門性を担保し、その職務の遂行に必要な能力及び資質の向上を図り、もって本校における教育研究の支援業務を円滑に実施することを目的とする。
（業務）
第3条　センターは、次に掲げる業務を行う。
(1)　教育研究支援のための基本計画の策定
(2)　教育研究に対する技術支援
(3)　技術職員の研修、技術発表会・講演会の企画及び実施
(4)　教育研究関連機器の保守・管理・操作
(5)　技術の継承及び保存
(6)　技術資料の作成、保管及び提供
(7)　所掌業務に係る調査統計及び報告に関すること。
(8)　その他本校における教育研究支援業務に関すること。
（技術班）
第4条　センターに第一技術班、第二技術班及び第三技術班を置く。
2　第一技術班は、次に掲げる業務に従事する。
(1)　第3条に規定する業務のうちものづくり分野に関すること。
(2)　第一技術班の運営に関すること。
3　第二技術班は、次に掲げる業務に従事する。
(1)　第3条に規定する業務のうち制御・情報分野に関すること。

894

D〔福井高専(三二)　八九四

（出典　福井工業高等専門学校規則集）

また，協議会等の議事要旨を学内ＬＡＮによるグループウェアで全教職員が閲覧できることにより職員の一人ひとりが学校の現状を把握することができる。

（分析結果とその根拠理由）

本校の目的を達成するために，各種委員会で審議・協議し，協議会の決定事項については教職員が連携協力して速やかに業務を遂行しており，効果的な活動を果たしている。

観点11－１－③：　管理運営の諸規定が整備されているか。

（観点に係る状況）

本校の管理運営に関する諸規程については，「福井工業高等専門学校学則」，「福井工業高等専門学校内部組織規則」，「福井工業高等専門学校事務組織規則」等のほか各種委員会規則等も校務分掌表（資料１１－１－②－２）のとおり整備されており，十分にその役割を果たしている。

（分析結果とその根拠理由）

管理運営に関する諸規程の整備については，従前から行っており適切に運営されている。今後は各種委員会の統廃合を行うなど，効率的な体制づくりを検討することとしている。

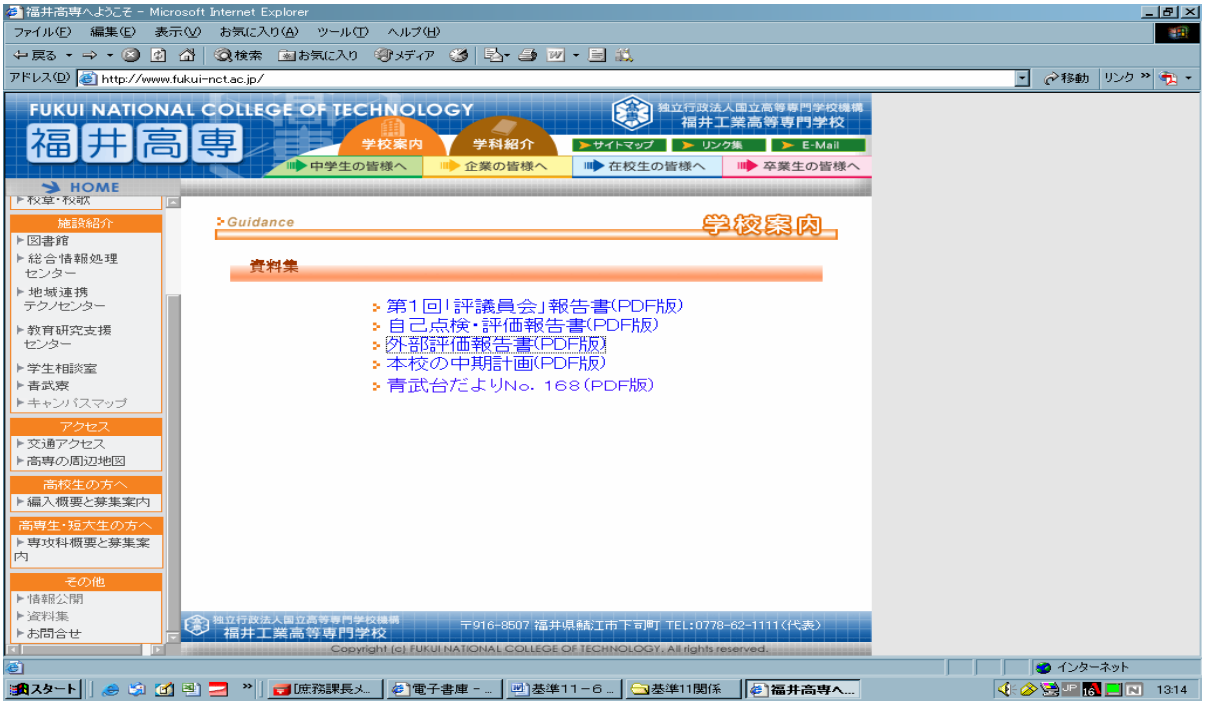
観点11－２－①：　外部有識者の意見が適切な形で管理運営に反映されているか。

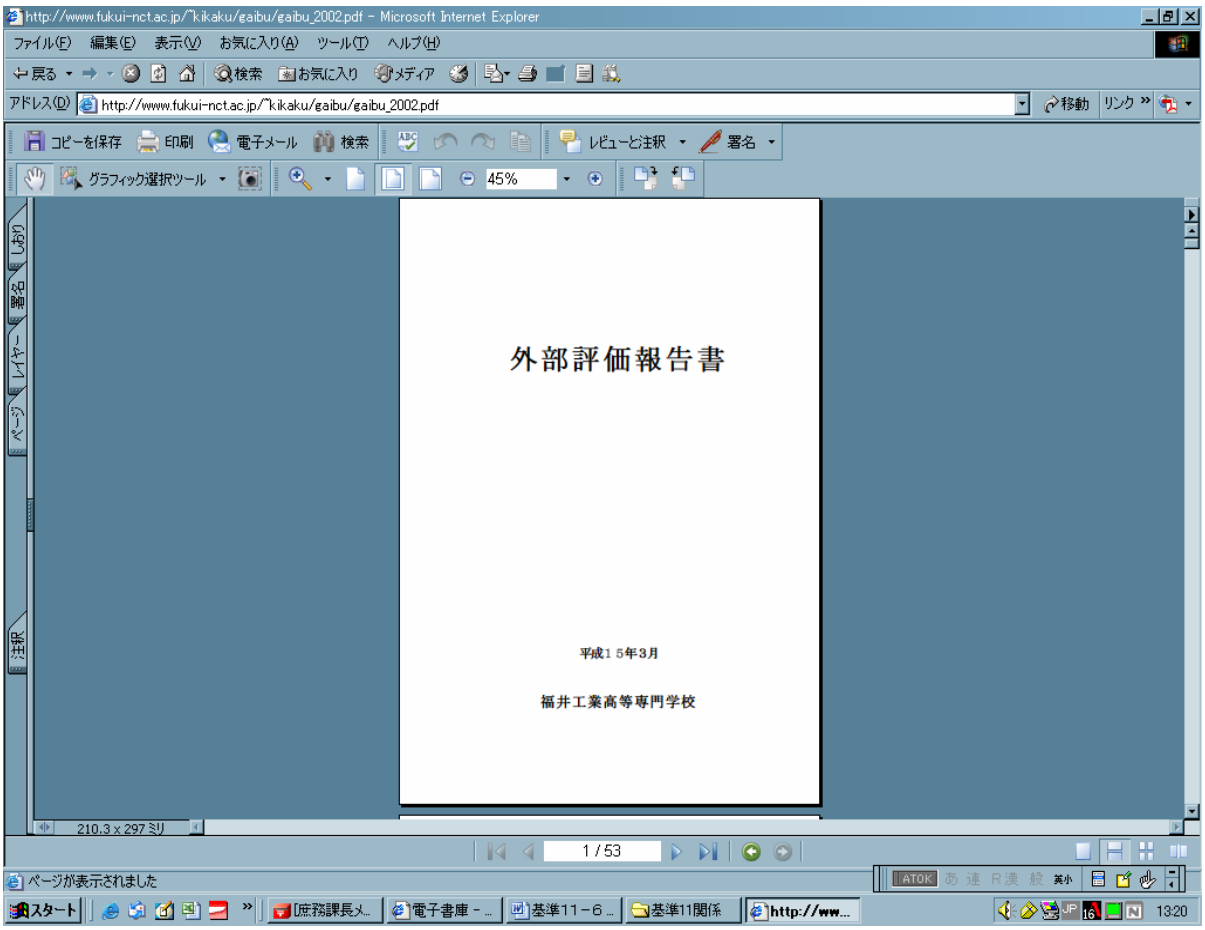
（観点に係る状況）

平成１４年１２月に福井工業高等専門学校外部評価実施要項を制定し，平成１５年２月に外部評価を実施した。その評価結果を「外部評価報告書」（資料１１－２－①－１）に取り纏め，関係機関へ配付するとともにホームページに掲載した。また，平成１６年５月にはこの要項を福井工業高等専門学校評議員会規則（資料１１－２－①－２）に改め，高等教育機関の教員，本校の所在する地域の教育関係者，地方自治体等研究機関の研究者，産業界の有識者，報道機関の有識者で構成される評議員会を年に１回以上開催し，教育目標・計画，自己評価，中期計画（資料１１－２－①－３），その他本校の運営に関する重要事項について審議・評価を受けている。その結果を第１回「評議員会」報告書（資料１１－２－①－４）に取り纏め関係者（「第１回「評議員会」報告書の作成について」（資料１１－２－①－５））に配付及びホームページ（「第１回「評議員会」報告書」（資料１１－２－①－６））に掲載するとともに，管理運営のうえで重要な意見については協議会において検討し，その結果，改善等を要する事項については担当する委員会等に要請している。次に，委員会等は要請により改善等を実施し，その結果を協議会に報告している。また，改善内容等については次回開催の評議員会で報告することにより，外部有識者の意見を反映している。

（資料１１－２－①－１）

「外部評価報告書」





（出典　福井工業高等専門学校ホームページ）

（資料１１－２－①－２）

「福井工業高等専門学校評議員会規則」

第１編　規程・内規（福井工業高等専門学校評議員会規則）

○福井工業高等専門学校評議員会規則

（平成16年５月13日
規則第21号）

改正　平成16年６月３日規則第23号

（設置）

第１条　福井工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、広く学外有識者の意見を聴くための組織として、福井工業高等専門学校評議員会（以下「評議員会」という。）を置く。

（任務）

第２条　評議員会は、本校の教育研究目標・計画、自己評価、その他本校の運営に関する重要事項について、校長の諮問に応じて審議・評価し、及び校長に対して助言又は勧告を行う。

（組織）

第３条　評議員会は、10人以内の評議員で組織する。

２　評議員は、本校教職員以外の者で高等専門学校に関し広くかつ高い識見を有する者のうちから校長が委嘱する。

３　評議員の任期は、１年とし、再任を妨げない。ただし、評議員に欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

（議長）

第４条　評議員会の議長は、評議員の互選により定める。

（評議員会の開催）

第５条　評議員会は、校長が招集する。

２　評議員会は、年１回以上開催するものとする。

３　評議員会は、必要に応じて関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（守秘義務）

第６条　評議員は、その役割を遂行するうえで知り得た情報を、正当な理由なく漏洩してはならない。

（庶務）

98

D（福井高専三二）　九八

（出典　福井工業高等専門学校規則集）

（資料１１－２－①－３）

「中期計画」

独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画に対する本校の中期計画

独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画	本　校　の　中　期　計　画
（序文） 独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第30条の規定により、独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「機構」という。）が中期目標を達成するための中期計画（以下「中期計画」という。）を次のとおり定める。	（序文） ２１世紀を迎え、すべての分野でグローバル化が進展している。また、社会構造の変革を伴って長く経済の調整期が続いており、社会・産業界では新産業の創出及び高付加価値型企業への転換が迫られている。このため、教育界にはグローバルな視野と高度な情報技術に優れた倫理性を持った創造的、開発型の技術者の育成が求められている。 本校では創設の理念の一つである「ものづくり教育」と実践教育によって、社会が求める人材を育成するため、次の教育理念を掲げる。
（基本方針） 国立高等専門学校は、中学校卒業後の早い段階から、実験・実習・実技等の体験的な学習を重視したきめ細やかな教育指導を行うことにより、産業界に実践的技術者を継続的に送り出してきており、また、近年ではより高度な知識技術を修得するために卒業生の４割近くが進学している。 さらに、これまで蓄積してきた知的資産や技術的成果をもとに、生産現場における技術相談や共同研究など地域や産業界との連携への期待も高まっている。 このように国立高等専門学校にさまざまな役割が期待される中、高等学校や大学とは異なる高等専門学校の本来の魅力を一層高めていかなければならない。また、産業構造の変化等を踏まえ、創造力に富み、人間性豊かな技術者の育成という視点に立って、国立高等専門学校における教育の内容も不断に見直す必要がある。 こうした認識のもと、大学とは異なる高等教育機関としての国立高等専門学校固有の機能を充実強化することを基本方針とし、中期目標を達成するための中期計画を以下のとおりとする。	＜教育理念＞ ・創造性豊かな人材の育成を目指す人間教育 ・幅広い工学的素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育 ・高度に情報化した国際社会に対応する教育 ・環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育 ＜養成すべき人材像＞ ・地球的視点の倫理観を持ち、「ものづくり」と「環境づくり」に関する能力と、多様な「システム」を理解し創造的に「デザイン」する能力を身に付けた、国際社会で活躍する実践的技術者を育成する。 ＜国立高等専門学校の教育研究等の質の向上に関する目標＞ ・地球的視点の技術者倫理を意識した、ものづくり・環境づくり、システムデザイン能力の育成 ・幅広い工学的素養、得意とする専門技術の基礎能力及び応用能力の育成 ・豊かな創造力とデザインマインドを持ち、常に自己を啓発し、新しい課題・分野に挑戦する能力の育成 ・高度に情報化した国際社会で必要なコミュニケーション基礎能力とプレゼンテーション能力の育成 ・体験に基づいて問題を発見し、解決策を企画・実行する実践的能力及び論理的思考能力の総合的な育成 ・地域社会に根ざした教育研究の推進とその成果を広く社会に還元する体制の整備 こうした認識のもと、大学とは異なる高等教育機関としての高等専門学校固有の機能を充実強化することを基本方針とし、国立高等専門学校機構の中期目標を達成するため、福井工業高等専門学校の中期計画を以下のとおりとする。
Ⅰ　業務運営の効率化に関する目標を達するために取るべき措置	Ⅰ　業務運営の効率化に関する目標を達するために取るべき措置

（出典　独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画に対する本校の中期計画）

（資料１１－２－①－４）
「評議員会報告書」

第１回「評議員会」報告書

平成１６年１２月

福井工業高等専門学校

ま え が き

平成１６年４月をもって従来の国立高等専門学校は「独立行政法人国立高等専門学校機構」となり，本校も創立３９年目をもって新しく生まれ変わった。国立高等教育機関には，国民の税金で運営されている以上，各機関の運営状況を外部に公開し，その内容を国民に積極的に説明する責任（Accountability）が科せられている。本校も法人化を機に，上記高専機構から提示された中期計画を基に，福井高専独自の中期計画を定め，その計画達成に鋭意努力しているところである。大学・高専に対する評価システムについては，教学と経営の両面から「大学評価・学位授与機構」による認証評価と日本技術者教育認定機構（JABEE）による評価があり，高専も自己点検・自己評価を行うとともに，第三者評価も義務として受けることとなった。

本校では，平成１４年１２月に自己点検・自己評価書「２１世紀に輝く福井工業高等専門学校の教育と研究」を公表し，引き続いて，平成１５年２月４日に外部の産学官の有識者により，福井高専第１回外部評価委員会（委員長は児嶋眞平福井大学長）を開催した。席上では法人化後の高専の在り方について的確かつ厳しいコメントを頂いたが，その内容は同年３月に外部評価報告書として公表した。

上述の本校の中期計画の中では，学外有識者により構成される評議員会を設置し，教育及び研究に関する外部評価を受けるとともに，学校運営に関する意見を聴取すると謳っており，その趣旨に添って平成１６年９月７日に第１回評議員会を開催した。本校では「福井高専教育点検・改善システム」として，学習・教育目標，教育方法，教育環境，学習保証時間，教育達成度について，計画（Plan），実施・運用（Do），点検・検証（Check），見直し・改善（Action）のいわゆる PDCA サイクルを常時稼働させており，評議員会はこの中で点検・検証の重要な機能を果たすものである。

第１回評議員会では，本校の概要説明を校長及び４名の副校長が行った後，平成１５年開催の第１回外部評価委員会での指摘事項の教育・研究改善事項の説明，本校の中期計画・JABEE の説明に続いて，教育・研究環境の視察をお願いした後，討論，提言，講評を頂いた。席上では熱心な討論を賜るとともに，それぞれの立場から本校教員の目には写らない種々の事柄について，耳の痛いご指摘や励ましのお言葉を頂戴した。本校では，これらの評議員各位からのご意見を生かして，法人化の目標とされる福井高専の個性化，活性化及び高度化を図り，世の中で必要とされる福井高専を目指してより一層の努力を積み重ねる覚悟である。忌憚のない，貴重なご意見を賜った評議員各位に深甚の謝意を表したい。

平成１６年１２月

福井工業高等専門学校
校　長　　駒　井　謙　治　郎

（出典：第１回「評議員会」報告書）

（資料１１－２－①－５）
「第１回「評議員会」報告書の作成について」

第１回「評議員会」報告書の作成について

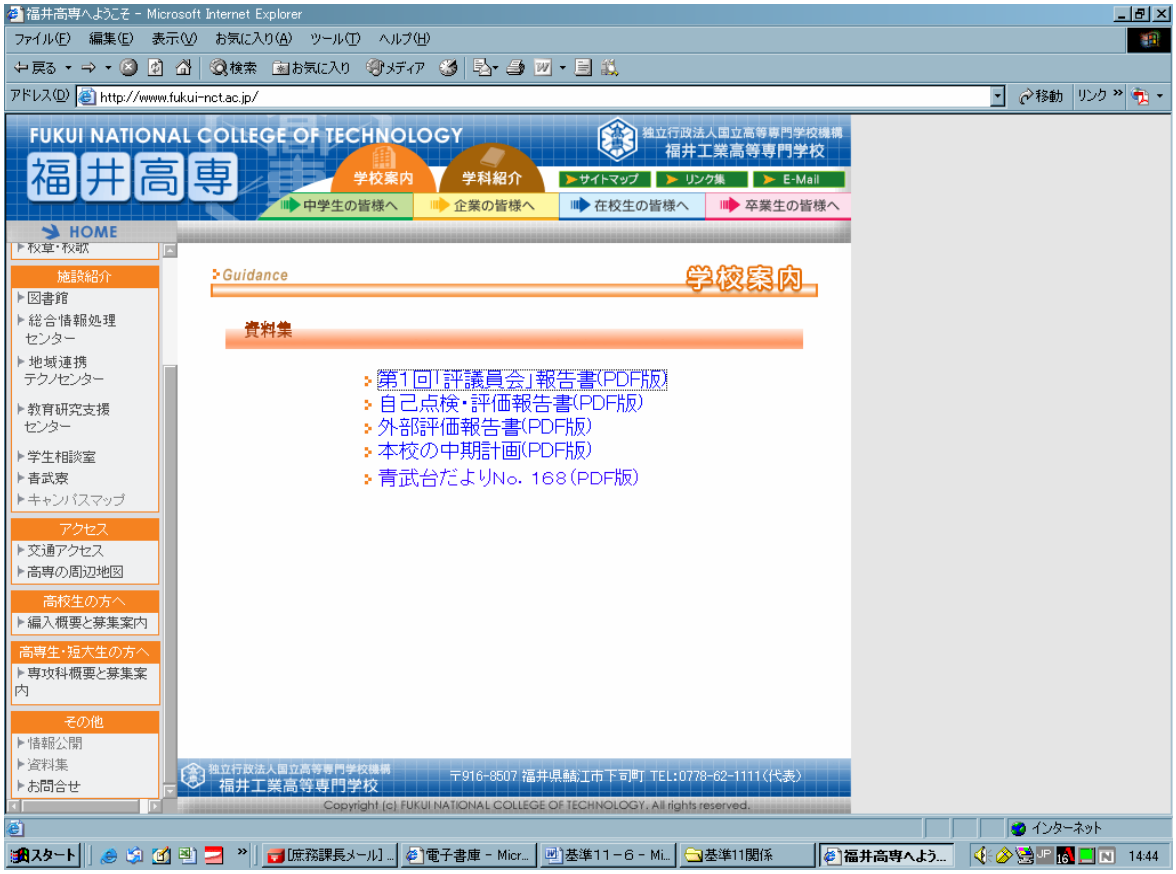
１．印刷内容　　Ａ４版縦　一部カラー印刷　５４頁
（本文５０頁，まえがき・目次等　４頁　＊裏白を含む）
２．発行予定　　平成１７年1月２１日（金）
３．印刷部数　　３５０部　（内訳は下記のとおり）

【配布内訳】

機　関　等　名	配布部数
国立高等専門学校機構本部	3
文部科学省（専門教育課，学術機関課）	2
国立高専（５４校）	５４
公立高専（札幌市立，都立，都立航空，大阪府立，神戸市立）	5
私立高専（育英，金沢，近畿大）	3
技術科学大学（長岡，豊橋）	2
福井大学	1
福井県立大学	1
福井工業大学	1
仁愛大学	1
仁愛女子短期大学	1
国立若狭湾少年自然の家	1
県内高等学校（３１校）	３１
教育委員会（県，７市）	8
市　役　所（武生，鯖江）	2
福井高専教育研究振興会（２３企業等）	２３
福井県（文書学事課，産業労働部）	2
福井県産業支援センター	1
福井商工会議所	1
本校名誉教授（３２名）	３２
学　外　計	１７５
校長，事務部長，各課長（3），各係等（１３），技術班（3）	２１
教員	８１
図書館	２０
評議員	7
予備	４６
学　内　計	１７５
合　　計	３５０

（出典　庶務課）

（資料１１－２－①－６）
「第１回「評議員会」報告書」

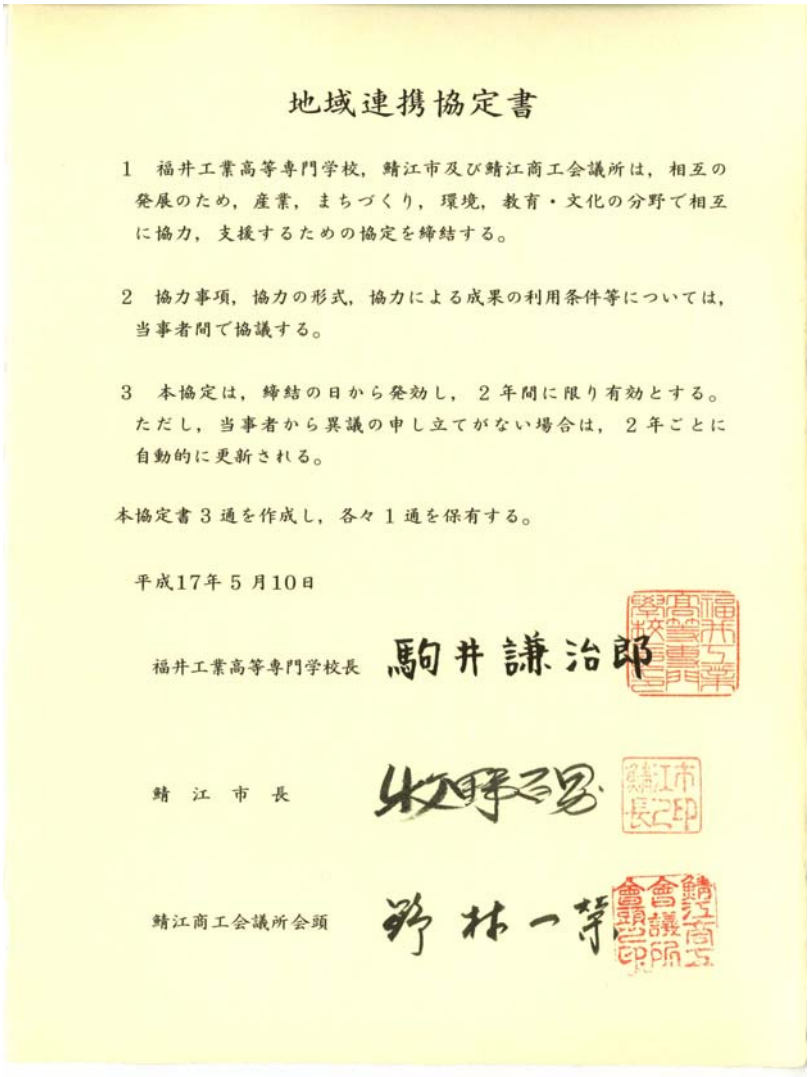


（出典　福井工業高等専門学校ホームページ）

平成１６年９月に実施した評議員会報告書（資料１１－２－①－５）の一つの事例として，伝統産業の支援については積極的に取り組んでおり評価するが，地場産業においても支援を期待する旨の要望があり，昨年度設置した伝統産業支援室につづいて今年度は地場産業支援室を設置するとともに，平成１７年５月には地元の市町及び商工会議所等との三者による地域連携協定（資料１１－２－①－７）を結び地元の産業界及び行政機関との関係をより親密にした。

また，人口の半分を占める女性にものづくりの楽しさや技術の必要性を持たせることも重要なことと思われるため，女子学生を受け入れる努力を要請する旨の依頼があり将来検討委員会等で検討した。

（資料１１－２－①－７）
「地域連携協定書」



地域連携協定書

1　福井工業高等専門学校，鯖江市及び鯖江商工会議所は，相互の発展のため，産業，まちづくり，環境，教育・文化の分野で相互に協力，支援するための協定を締結する。

2　協力事項，協力の形式，協力による成果の利用条件等については，当事者間で協議する。

3　本協定は，締結の日から発効し，２年間に限り有効とする。ただし，当事者から異議の申し立てがない場合は，２年ごとに自動的に更新される。

本協定書３通を作成し，各々１通を保有する。

平成17年５月10日

福井工業高等専門学校長　駒井謙治郎

鯖江市長

鯖江商工会議所会頭　野林一等

（出典：庶務課）

（分析結果とその根拠理由）

評議員会を開催し，産官学の各界から広く要望等を求め，提言事項については，協議会，その他関係する各委員会等で実現に向け改善策等を検討するなど，外部の意見は反映されている。

観点 11－３－①：　自己点検・評価（や第三者評価）が高等専門学校の活動の総合的な状況に対して行われ，かつ，それらの評価結果が公表されているか。

（観点に係る状況）

自己点検・評価（「自己点検・評価委員会規則」（前出資料６－１－⑤－４），「自己点検・評価報告書」（前出資料９－１－①－２）），評議員会（資料１１－２－①－２），ＪＡＢＥＥの受審（資料１１－１－①－４），学生へのアンケート調査（「平成１６年度教育環境要望調査アンケート」（資料１１－３－①－１））及び企業へのアンケート調査（（資料１１－２－①－６）「第１回「評議員会」報告書」の４４頁に掲載）を行い，教育・研究，組織・運営，施設・設備について偏りのない公平な判断をするとともに，その評価結果を報告書に取り纏めるとともにホームページで公表

している。また，学生へのアンケート調査結果による改善策等の学生への周知は学級担任が行うとともに，寮関係は寮の掲示板，図書館関係は図書館入り口の掲示板で表示した。

（資料１１－３－①－１）

「平成１６年度教育環境要望調査アンケート」

平成 16 年度教育環境要望調査アンケート　①結果分析

＜本科：1ー5 年＞

１．施設

講義室に対して不満と回答した学生が 64%と極めて高い結果となった. 不満理由として大半が空調の未整備を挙げた．７月にアンケート調査を実施したこと，県立高校では既に空調整備が成されているところもあることも要因として考えられる．その他の施設に関しては，約２割が不満と回答し，施設利用の利便性について不満をもつ者が多かった.

２．福利厚生施設

食堂，売店のサービスに対して不満と回答した学生が約 15%であり，改善を求める意見も寄せられた．その他の福利厚生施設に関しては，不満と回答した学生は１割程度以下であり，概ね不満が少ないという結果が得られた.

３．その他施設

約６割の学生が学生駐車場に対して不満と回答した．その要望意見としては，舗装あるいは整地，駐車スペース間隔の拡張などであった．これに対しては，駐車許可証発行時などにおいて十分な説明の必要があるであろう．学寮に対して不満と回答した寮生が約４割にのぼり，その不満理由として空調の未整備，隣室の騒音，部屋面積などが挙げられた．その他，駐輪場，校内環境・美化に対する不満が２割程度であり，今後校内環境整備の必要も考慮する必要があると思われる.

＜専攻科：1ー2 年＞

１．施設

主として専攻科棟（エアコン完備）にて講義を受けるため，講義室に対する不満は少ない．情報処理センターおよび図書館に対する不満が約２ー３割と若干不満と感じている学生数が多いといえる．情報処理センターへの要望では，コンピュータなどのハード環境に対する不満とインターネット利用に制限がある不満が挙げられた．図書館に対する要望としては，専門書，文献の充実を求める意見が寄せられた.

２．福利厚生施設

売店に対する不満が２割弱と若干の不満がみられた．売店で専門書を販売してほしいという要望が寄せられた．その他に関しては，概ね満足率が高いと考えられる.

３．その他施設

約７割の学生が学生駐車場に対して不満と回答した．その要望意見としては，舗装あるいは整地，駐車区画を示すラインの明確化などであった．これに対しては，駐車許可証発行時などにおいて十分な説明の必要があるであろう．その他，駐輪場，校内環境・美化に対する不満が約２ー３割であり，今後校内環境整備の必要も考慮する必要があると思われる.

*専攻科学生の要望には，図書館の専門書，文献の不足，コンピュータ，インターネット環境および利用の充実など勉学意欲を示す意見が多く見られたのが特徴的であった.

（出典　庶務課）

（資料１１－３－①－１）
「平成１６年度教育環境要望調査アンケート」

平成16年度教育環境要望調査アンケート　②要望意見（施設別）

◎は、特に要望が多かったもの
〇は、要望が多かったもの

施設

◎教室および校内建物・施設が汚い，暑い，狭い，古い
◎クーラーが欲しい
◎毛虫をなんとかして欲しい（特にプールなどの野外施設、教室付近）
〇黒板が古い、汚い
〇教室の風通しが悪い
〇パソコン，インターネット環境が古い，処理速度が遅い
〇図書館の本，専門書，文献が少ない・古い
〇情報処理センターの利用時間が短い
〇Ｗｅｂ閲覧ができる環境が欲しい
〇施設利用時間が短い
〇屋外施設を利用しやすくしてほしい（部員以外利用しにくい），利用方法がわからない
第二体育館の暗幕がとれるので直してほしい
プールが汚い・古い

福利厚生施設，利用環境

〇食堂，売店が狭く混雑する
〇売店で専門書を販売してほしい
保健室に先生が不在なことが多い。特に、部活動時。
保健室のベッド数が少ない

その他施設

◎駐輪場が狭い
〇学生駐車場を舗装してほしい，でこぼこを直してほしい，駐車区画がわかりにくい
〇休息場所（日陰，ベンチ）がほしい
水たまりを直してほしい
心和館内が汚い

寮

〇寮にクーラーがなく、勉強に集中できない，寝不足気味
狭い
汚い
隣室の騒音

（出典　庶務課）

（資料１１－３－①－１）
「平成１６年度教育環境要望調査アンケート」

平成 16 年度教育環境要望調査アンケート　③要望意見（学年別）

◎は、特に要望が多かったもの
〇は、要望が多かったもの

１年
◎クーラーが欲しい、暑すぎる
◎毛虫をなんとかして欲しい（特にプールなどの野外施設、教室付近）
〇パソコンが古い
〇図書館の本が少ない・古い
Ｗｅｂ閲覧ができる環境が欲しい
寮にクーラーがなく、寝不足気味
駐輪場の段差が高い
保健室に先生が不在なことが多い。特に、部活動時。
プールが汚い・古い

２年
◎クーラーが欲しい、暑くて勉強に集中できない
◎虫が多い
◎売店が狭い
◎駐輪場が狭い
〇教室が狭い
〇黒板が古い、汚い
保健室に先生がいない
パソコンが古い
Ｗｅｂ閲覧ができる環境が欲しい
プールが汚い・古い
寮が暑くて勉強に集中できない
寮が狭い，汚い，隣室の騒音

３年
◎教室および校内建物・施設が汚い，暑い，狭い，古い
◎クーラーが欲しい
〇図書館の蔵書が少ない
〇パソコンが古い，処理速度が遅い
〇情報処理センターの利用時間が短い
〇休息場所（日陰，ベンチ）がほしい
〇食堂，売店が狭い
水たまりを直してほしい
駐輪場が狭い

（出典　庶務課）

本校では，国立高等専門学校機構が作成した中期計画を基に本校独自の中期計画を設定するにあたり，将来構想検討委員会にて中期計画の案を作成し，その案を評議員会において各委員の意見等を聴取及び審議したうえで本校の中期計画とした。

また，専攻科の教育プログラムが社会で必要とする多様な能力を持つ技術者の育成教育として構築されているか外部有識者の評価を得るため，平成１６年度に日本技術者教育認定機構（ＪＡＢＥＥ）の審査を受け，平成１７年５月にＪＡＢＥＥ技術者プログラムとして認定（資料１１－３－①－２）された（認定プログラム名：環境生産システム工学，認定分野：工学（融合複合・新領域）関連分野）。

この中期計画（資料１１－３－①－３）及びＪＡＢＥＥ技術者プログラムの認定（資料１１－３－①－４）についてはホームページで公表している。

この他，教職員の勤務意欲と本校の活性化を図るため「福井工業高等専門学校校長表彰規則」（前出資料９－１－①－８）を平成１６年１月に制定し，選考委員会の評価のもとに，毎年年度末に数名の表彰を行い，スカイボード（「校報 Vol.37 No.1」（資料１１－３－①－５））で公表している。

（資料１１－３－①－２）
「ＪＡＢＥＥ認定証」

認　定　証

福井工業高等専門学校専攻科

プログラム名：環境生産システム工学

工学（融合複合・新領域）関連分野

Quality Assurance by

頭書の技術者教育プログラムは審査の結果JABEE認定基準に適合していることを認定します

Since 1999

認定開始年度：2004年度

（次回審査時期およびその内容については審査結果報告書に記載）

2005年5月12日

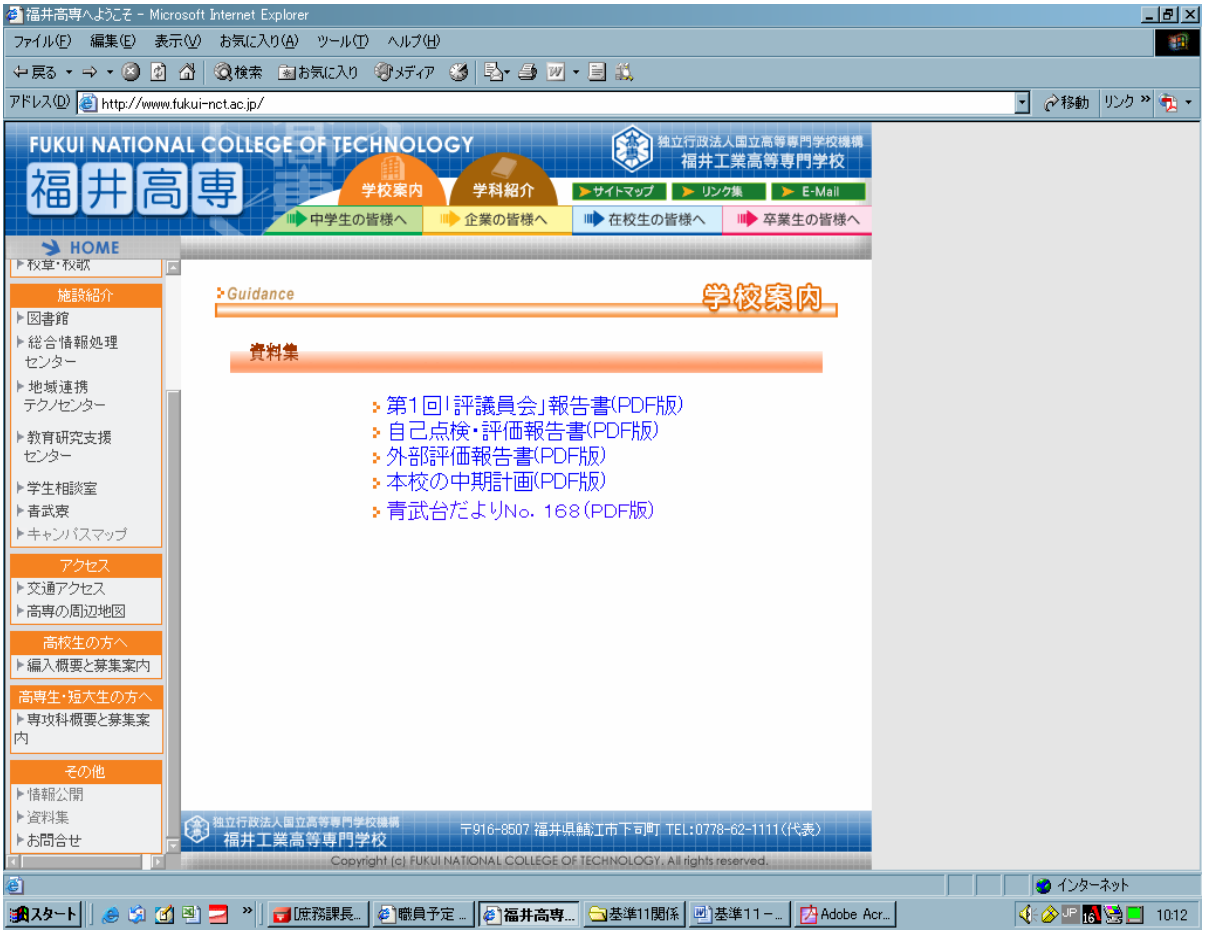
日本技術者教育認定機構

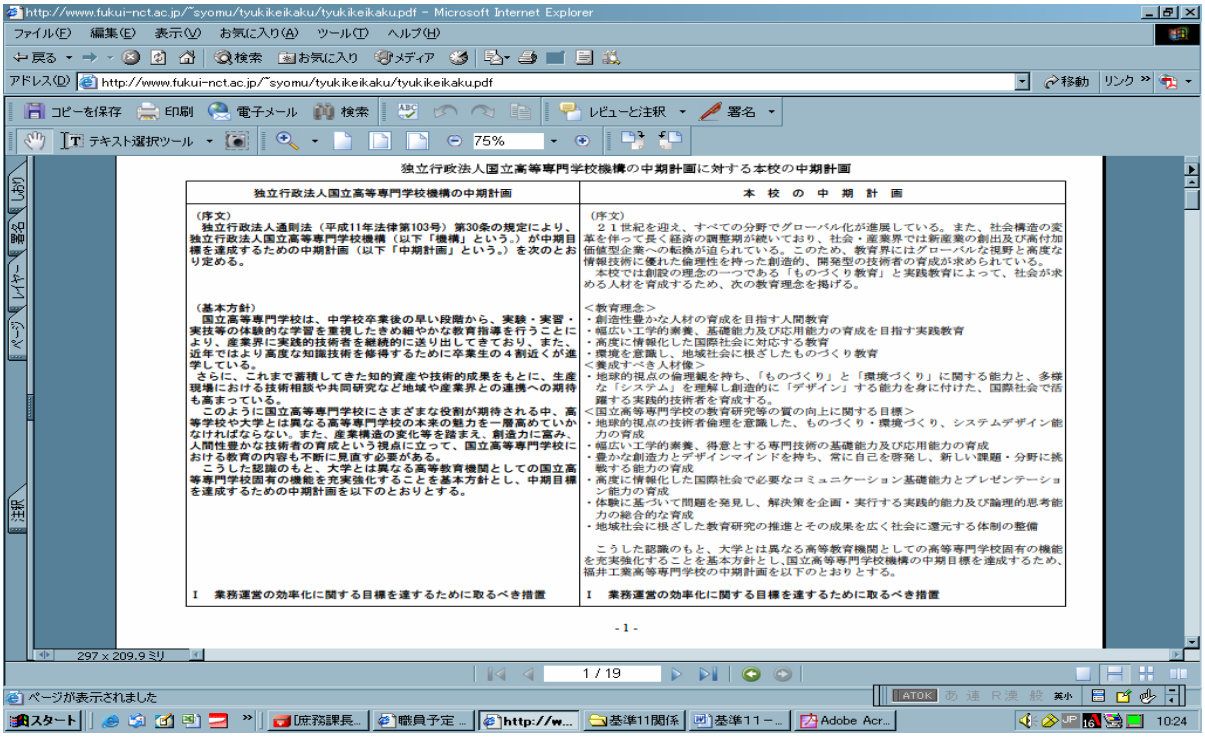
会長　吉川　弘之

（出典：庶務課）

（資料１１－３－①－３）

「本校の中期計画」

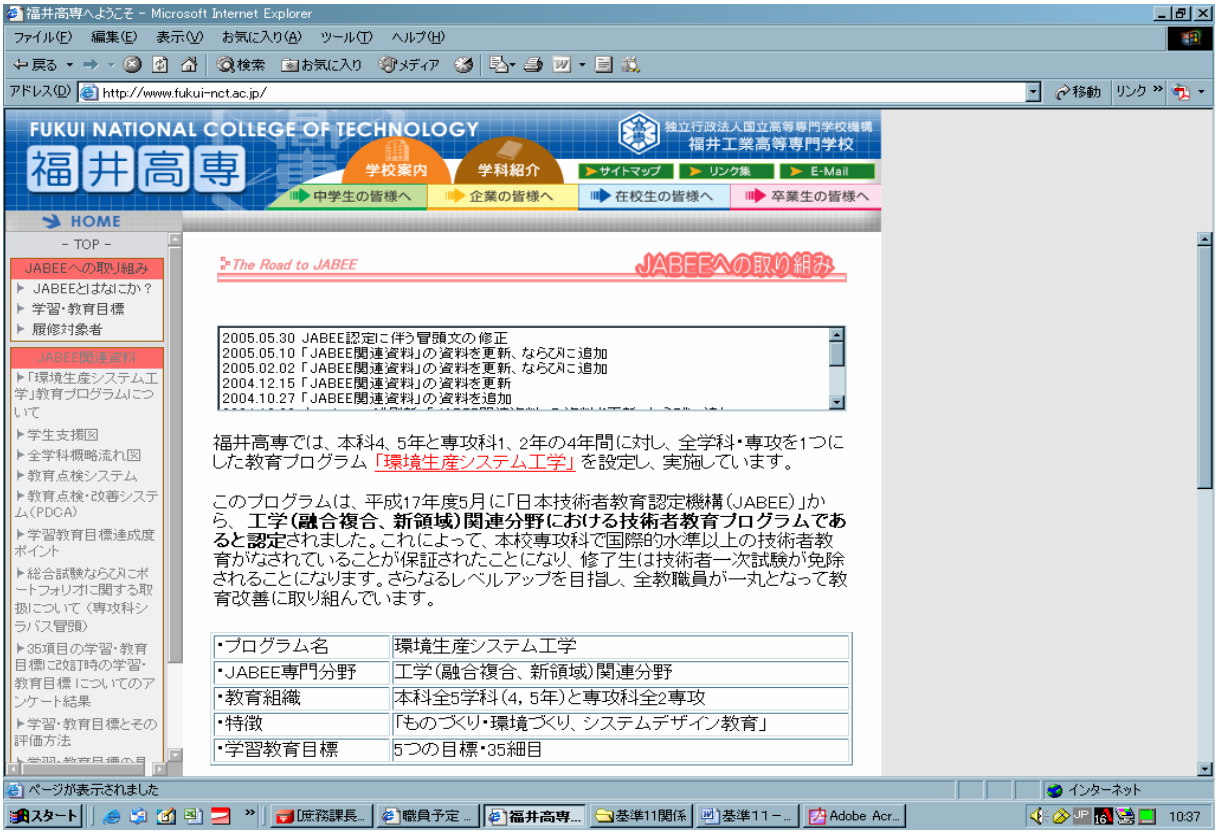




出典　福井工業高等専門学校ホームページ

（資料１１－３－①－４）

「ＪＡＢＥＥ技術者プログラムの認定」



出典　福井工業高等専門学校ホームページ

（資料１１－３－①－５）
「校報 Vol.37 No.1」

出典　スカイボード

（分析結果とその根拠理由）
自己点検・評価や外部評価を実施し，その結果を報告書及びホームページ等で公表している。

観点11－３－②：　評価結果がフィードバックされ，高等専門学校の目的の達成のための改善に結び付けられるような，システムが整備され，有効に運営されているか。

（観点に係る状況）
自己点検・評価，評議員会，ＪＡＢＥＥの受審，学生へのアンケート調査及び企業へのアンケート調査の評価結果を協議会等で審議のうえ，それぞれ担当する委員会にて具体的な方策を検討し改善している。

例えば，自己点検・評価委員会では補導委員会が行った学生アンケート（資料１１－３－①－３）の結果を受け，各委員の関係する委員会で「改善策」（資料１１－３－②－１）を講じるとともに実施し，その改善状況を「将来構想検討委員会」（資料１１－３－②－２）に報告している。また，評議員会の意見等（資料１１－２－①－４）についても「校長メモ」（資料１１－３－②－３）により「協議会議事要旨」（資料１１－３－②－４）や「将来構想検討委員会議事要旨」（資料１１－３－②－５）のように各担当委員等に問題を提起し，「将来構想検討委員会議事要旨」（資料１１－３－②－６）のとおり取り組んでいる。

（資料１１－３－②－１）

「改善策」

平成１６年度教育環境調査アンケート　②要望意見（施設別）

◎は特に要望が多かったもの　○は要望が多かったもの　・は要望があったもの

施設

◎教室および校内建物・施設が汚い、暑い、狭い、古い

平成１７年度施設整備概算要求で校舎全面改修を要求

現有教室を１．５倍に広げる。

各学科で現有使用の実験室、製図室、コンピュータ室の共用化を図る。

◎クーラーが欲しい

校舎全面改修時に教室及び実験室等にクーラーを設置する。

◎毛虫を何とかして欲しい（特にプールなどの野外施設、教室付近）

定期的（年２回）に駆除しているが、要望があれば会計課に連絡願います。

○黒板が古い、汚い

校舎全面改修時に教室等に設置している黒板については更新される。

○教室の風通しが悪い

校舎全面改修時にロッカー等を含めた教室の教育環境を整備する。

○パソコン、インターネット環境が古い、処理速度が遅い

平成１６年度契約「教育用電子計算機システム」更新に伴い、サーバは２台となり、

ＰＣは１５０台が導入される。

またメールサーバー（教職員・学生用）も更新予定である。

○図書館の本，専門書，文献が少ない・古い

毎年、予算の範囲内で各学科及び各クラスから推薦のあった専門書等を購入している。なお、今年度は校長裁量経費の配分により例年より多く購入予定である。また、新書はブックカバーをつけ目に付きやすくした。

○情報処理センターの利用時間が短い

基本的には午前８時３０分から午後５時１５分であるが「総合情報処理センター時間外利用許可願」を提出すれば午後１０時まで利用可能である。利用時間帯等についてはセンター内と本校のホームページ及び当初の授業開始時に案内している。

（平成１６年４月～９月の時間外利用件数　９２件）

○Web 閲覧ができる環境が欲しい

現在は図書館のパソコン２台が閲覧できるが平成１６年度契約「教育用電子計算機システム」更新に伴い総合情報処理センターに１０４台、ものづくりアトリエに４６台のパソコンが納入され平成１７年４月より全て閲覧が可能になる。

○施設利用時間が短い

課外活動で時間外に体育施設等を使用する場合は「課外活動届」を７日前までに提出し、許可を受ければ午後１０時まで利用できる。利用時間帯等については再度学生に周知する。

○屋外施設を利用しやすくしてほしい（部員以外利用しにくい），利用方法が分からない

「施設使用願い」を学生課に提出し、クラブ代表者の了解を得て利用することができる。ただし、課外活動が優先されるので時間帯、曜日等の制限がある。

・第二体育館の暗幕がとれているので直して欲しい

暗幕業者に依頼済

・プールが汚い、古い

営繕工事要求として機構本部に要求する。

福利厚生施設，利用環境

○食堂，売店が狭く混雑する

本年４月から食堂業者が代わり、サービス、メニューなどが向上したことから、学生の利用者が増大したこともあって、お昼時間の一時に混雑するようになった。食堂を今すぐに拡張することはできないので、空いている場所にテーブル（４台）と椅子（２４脚）を平成１６年１０月に設置し、混雑の解消を図った。

（出典　庶務課）

（資料１１－３－②－１）

「改善策」

○売店で専門書を販売してほしい

専門書は販売数も少なく、また、現在の売店経営形態及びスペースでは書籍を並べることは難しい。但し、売店に備え付けの書籍注文書に必要事項を記入のうえ店員に渡せば専門書等の書籍購入は可能である。（１０／２０売店責任者に確認）

・保健室に先生が不在なことが多い。特に部活動時

非常勤の看護師が午前９時４５分～午後４時３０分まで勤務している。部活動時についての学生の世話は顧問の先生にお願いしたい。また、勤務時間外に怪我等した場合は「事件・事故発生の緊急連絡網」により対応していただきたい。

・保健室のベッドが少ない

現在ベッドは３台有り、体調不良を訴えてくる学生の症状により、ベッドで休養を取らせている。しかし、保健室のスペースも小さくベッドをこれ以上増やすことは難しい状況なので、比較的軽い症状の学生にはソファーや診察台等で対応したい。また、現在も行っているが、症状が回復しない学生には、早め早めに医療機関にかかり、帰宅するよう指導している。

その他施設

◎駐輪場が狭い

駐輪場の収容台数は、①校舎西側駐輪場約２６０台、②電情棟南側駐輪場約２２０台の計４８０台である。現在学生が乗ってきている自転車台数は、①約２８０台、②１６０台で合計すると収容台数を下回っていることから、現状の乱雑な自転車の置き方の指導と、指定駐輪場への駐輪を徹底すれば混雑は解消可能である。

寮の駐輪場については、南寮に増設した。

○学生駐車場を舗装してほしい，でこぼこを直してほしい，駐車区画がわかりにくい

駐車場は、武生市・鯖江市の共有地を教育後援会が借り受けしており、所用の整備をしているが、舗装については工事費が高額でありまた、返還するときには現状復帰の条件が課せられていることもあり、舗装をしていない。でこぼこの補修及び駐車区画については、経費の面もあるので、業者に見積もらせた後、できるものから実施したい。（教育後援会が実施する）

○休息場所（日陰，ベンチ）がほしい

校内には高木も多く休息場所も少なくないと考えている。

ベンチは校内の数カ所に設置してあり、冬期の除雪作業を考慮すれば現状で対応したい。

・水たまりを直して欲しい

整備する。

・心和館内が汚い

心和館を利用したものが、退去時に必ず清掃等をすることになっている。今後はより入念な清掃をするよう指導する。

寮

○寮にクーラーがなく、勉強に集中できない，寝不足気味

今のところ、予算上、各居室にはクーラーは設置できません。クーラーは，図書室に設置されており、通常は午後１１時まで利用可能ですが試験期間中は午前１時まで延長できます。

・狭い

学寮各居室の平均面積は１０．５㎡ですが、周辺の賃貸アパートも（玄関、便所、浴室、キッチン等の面積を除くと）約１１㎡で，学寮居室が格段に狭いとも言えない。

・汚い

清掃状況の問題であるとすれば，週２日の当番制では不充分であるということになる。寮生会役員と一度検討してみる。施設面での問題であれば、東、北寮は平成５・６年に改修が終わり南寮は平成８年に新築している。また東寮の居室の壁紙の剥がれも平成１５年に張り替えを行い整備済みである。

・隣室の騒音

隣室の寮生相互のマナーの問題であると思うが，解決しづらいようであれば，区長か寮務主事団に申し出てほしい。

（出典　庶務課）

（資料１１－３－②－２）
「将来構想検討委員会」

第７回将来構想検討委員会議事要旨

日　　時　　平成１６年１１月１１日（木）１７：００～１８：００
場　　所　　校長会議室
出 席 者　　校長、教務主事、学生主事、寮務主事、専攻科長、事務部長、
田中、新谷、前川、松井(修)、小寺、各学科(教室)主任、
図書館長、総合情報処理センター長、先進技術教育研究センター長、
教育研究支援センター長、
代理出席者　　朝倉（坪川代理）、武井（前島代理）
列 席 者　　会計課長、学生課長、庶務係長

議事に先立ち、校長から前回の議事要旨の確認が行われ了承された。

議　題
１　第１回福井工業高等専門学校評議員会（校長メモ）を受けての検討事項について
(1) 先進技術教育研究センター中期計画に関する見直しについて
センター長から、以下のとおり報告があった。
・相談窓口の明示、技術相談無料の明確化
・運営委員会でのバックアップ体制・協力体制を確立し、受入れ教員の連携と負担軽減を検討
(2) 女子学生対策について
1) 女子学生を意識した教育方針について（物質工学科）
松井委員から、すでに多くの女子学生を受け入れている物質工学科としては、女子学生の増加策ではなく、女子学生の入口・出口を考えた教育について報告があった。
2) 女子学生志願者増に関する方策（電気工学科）
新谷委員から、女子学生を意識した進路・資格取得の情報提供などの報告があった
3) 女子中学生の機械工学科への志望者増加策について（機械工学科）
田中委員から、機械工学科在学女子学生からの聞き取り調査に基づく意見からの今後の対応について報告があった。

２　「平成１６年度教育環境要望調査アンケート」検討結果について
校長から、第２回自己点検・評価委員会(10/28開催)での報告を受けて、各部署から検討結果について報告願いたい旨発言があった。
教務主事：施設整備部会の下のＷＧでの検討結果について報告があった。
学生主事：資料に基づき報告があった。
寮務主事：資料に基づき報告があった。

（出典　スカイボード）

（資料１１－３－②－３）

「校長メモ」

第１回福井工業高等専門学校評議員会（校長メモ）

日時：平成１６年９月７日〔火〕　１０時―１５時１５分

外部評価委員会委員

児嶋眞平（福井大学長），小島　陽（長岡技術科学大学長），茨田隆信（鯖江市中学校校長会会長），中野孝太郎（福井県産業支援センター常務理事），野村一栄（鯖江商工会議所会頭），本島正勝（信越化学工業（株）磁性材料研究所長），橋詰武宏（(株）福井新聞社役員待遇論説委員長）

本校

校長，教務主事，学生主事，寮務主事，専攻科長，各学科（教室）主任，図書館長，各センター長，事務部長，各課長，JABEE 委員長　　以上　合計 28 名

講評概要

児嶋委員長総評

- 工学基礎コース設置を意欲的取り組みとして評価する．今後発展することを期待する．
- 寮生対応，担任制，学年主任制等，学生にきめの細かい配慮をしている．
- 専攻科と本科の連携に不安がある．大学３年への編入学の増加する状況下で専攻科入学生を如何に確保するのか．また，専攻科修了生の大学院への進学を奨励するのか，就職を前提とするのか等，専攻科をどのように今後運営しようとしているのか．（将来構想検討委員，専攻科委員会）
- 研究面では共同研究が急増し充実しているが，教育との兼ね合い，研究時間の都合を考慮のこと．
- 研究費は科研費実績を評価する．運営交付金減に備えること．
- 教育環境が劣化している．整備に努めること．（施設整備部会）
- 産学連携を手広くやるのは期待倒れの恐れあり．意欲的に取り組んでおり成果ありと認める．

小島委員

- 連携大学院を推進されたい．（専攻科委員会）

茨田委員

- 広報活動が弱いので，活発化し小中学校との繋がりを強化されたい．高校は積極的である．小中学校への宣伝活動を積極的に，また，教員研修や出前授業を考えて欲しい．（広報委員会）

中野委員

- 研究活動の裏付け，産官学連携について，もっと具体的に中期計画に記載されたい．（中期計画手直し）

野村委員

- 丹南地域の伝統産業は和紙以外に，漆器や打ち刃物があることを忘れないこと．的を絞って産官学連携を推進されたい．（先進技術教育研究センター運営委員会）

本島委員

- 英語力の強化を期待する．（一般科目教室主任）

橋詰委員

- 小学生をターゲットにした物づくり，理科，科学技術への関心強化に努める（広報委員会）．
- 国際化対応を．留学制度や海外とのネットワーク開拓に努めること．（教務委員会）
- 人口の半分を占める女子学生に手に技術を持たせるニーズがある．之に応えること．（各学科主任）

（出典　庶務課）

（資料１１－３－②－４）
「協議会議事要旨」

平成１６年９月定例協議会議事要旨

日　　時　　平成１６年9月9日（木）１５：３５～１６：００
場　　所　　校長会議室
出 席 者　　校長、教務主事、学生主事、寮務主事、事務部長、
田中、前川、松井(修)、前島、小寺、坪川(武)各学科(教室)主任、
総合情報処理センター長、先進技術教育研究センター長、大久保(茂)JABEE委員長
代理出席者　　小泉専攻科環境システム工学専攻主任
欠 席 者　　専攻科長、新谷主任、図書館長、教育研究支援センター長
列 席 者　　庶務課長、会計課長、学生課長、庶務係長

校長から前回の議事要旨（８月臨時協議会、第２回福井豪雨支援室会議）の確認が行われ了承された。

Ⅰ　審議事項

１　学則の一部改正について

小泉専攻主任から教育課程の改訂に至る経緯について、また学生課長から学則新旧対照表に基づきそれぞれ説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

Ⅱ　報告事項

１　校長報告

(1) 平成１６年度第１回福井工業高等専門学校評議員会について

去る９月７日に本校で開催された評議員会について、校長から報告があった。

２　先進技術教育研究センター長所管事項報告

(1) 第２回全国高専テクノフォーラムについて

センター長から報告があった。併せて、９月３０日に大講義室で「特許講習会」を開催する旨案内があった。

(2) 第１２回高度技術者研修について

センター長から今月２８～２９日に実施する旨案内があった。

(3) 武生商工会議所ならびに会員企業と福井工業高等専門学校との交流会の開催について

センター長から明日（１０日）に開催する旨案内があった。

（出典　スカイボード）

（資料１１－３－②－５）
「将来構想検討委員会議事要旨」

第５回将来構想検討委員会議事要旨

日　　時　　平成１６年９月９日（木）１６：００～１６：２５
場　　所　　校長会議室
出 席 者　　校長、教務主事、学生主事、寮務主事、事務部長、
田中、前川、松井(修)、前島、小寺、坪川(武)各学科(教室)主任、
総合情報処理センター長、先進技術教育研究センター長、大久保(茂)JABEE委員長
代理出席者　　小泉専攻科環境システム工学専攻主任
欠 席 者　　専攻科長、新谷主任、図書館長、教育研究支援センター長
列 席 者　　庶務課長、会計課長、学生課長、庶務係長

議事に先立ち、校長から前回の議事要旨の確認が行われ了承された。

議　題
１　評議員会を踏まえての本校中期計画について
　庶務課長から、評議員会での審議を受けて中期計画の修正箇所について説明があった。校長から、今回の修正で本校の中期計画（最終版）が完成したので、今後この計画に沿ってそれぞれの部署で対応願いたい旨発言があった。
２　今後の高等専門学校の整備の在り方に関する調査研究について
　機構本部から依頼のあった調査研究の本校としての回答（９月１５日締め切り）について、教務主事から説明があった。校長から、学校基本調査の高等専門学校入学状況資料に基づき説明があった。校長から、この説明内容で機構本部に回答するとの発言があり、委員には今後この内容を中期計画と共に各部署の将来構想に活かすよう依頼があった。

次回は、評議員会での校長メモで依頼をしている事項について、各部署のできるところから報告願いたい旨依頼があった。

（出典　スカイボード）

（資料１１－３－②－６）
「将来構想検討委員会議事要旨」

第８回将来構想検討委員会議事要旨

日　　時　　平成１６年１２月２日（木）１５：３０～１７：３０
（１６：３０～１６：５０　永年勤続者表彰式のため中断）
場　　所　　校長会議室
出 席 者　　校長、教務主事、学生主事、寮務主事、専攻科長、事務部長、
田中、新谷、前川、松井(修)、坪川、小寺、各学科(教室)主任、
図書館長、総合情報処理センター長、先進技術教育研究センター長、
教育研究支援センター長
代理出席者　　武井（前島代理）
特別出席者　　JABEE委員長
列 席 者　　会計課長、学生課長、庶務係長

議事に先立ち、校長から前回の議事要旨の確認が行われ了承された。

議　題
１　第１回福井工業高等専門学校評議員会（校長メモ）を受けての検討事項について
(1) 女子学生対策について
1) 環境都市工学科を志望する女子中学生への対応（環境都市工学科）
武井教授から、中学校と女子中学生への綿密な情報提供（進路情報も含む）を行うことを中心に報告があった。
2) 女子志願者増加による入試倍率向上の方策について（電子情報工学科）
前川委員から、女子志願者増の方策について報告があった
(2) 英語力強化策について
小寺委員から、英単語・熟語一斉テストや、習熟度別講座の実施などについて報告があった。

（出典　スカイボード）

このシステムについては「観点９－１－④の観点に係る状況」に記載のとおり，ＰＤＣＡにより実行している。

（分析結果とその根拠理由）

改善を必要とする評価結果については，事項ごとに担当する委員会等へ提起し，具体的な改善方策等の検討からその実施と協議会への報告まで一貫したシステムが構築され，有効に運用されている。

（２）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

・校長のリーダーシップのもとに，副校長，各種委員会の管理運営体制及び事務組織が整備され，その役割も果たされており，また，外部有識者の意見が反映するシステムも構築されている。
・多様な評価を実施し，その評価結果は学校全体の教育システムの改善に反映されている。
・委員会等の議事要旨を学内ＬＡＮによるグループウェアに掲載することにより全教職員へ滞りなく周知している。

（改善を要する点）

各種委員会の数が４０を超えており，教職員が複数の委員会の委員となっているため，会議に要する時間が多くなっている。このため，今後は内容を精査し委員会を統廃合する必要がある。

（３）基準11の自己評価の概要

学校の目的を達成するため，校長が最終責任者として意思決定を行うための補佐体制として，教育計画，学生の厚生補導，学寮の厚生補導及び専攻科の運営について４人の副校長を置いている。このほかにも校長のリーダーシップのもとに図書館長，各センター長及び事務部長を中心とした態勢を整えるとともに，学則や内部組織規則等の諸規定を整備している。また，学校の管理運営に関する重要事項を審議する協議会のほか将来構想検討委員会等の各種委員会を目的ごとに設置し，担当者を校務分掌表のとおり定めている。

協議会等の議事については学内ＬＡＮ（スカイボード）により閲覧できる態勢を整えており，また，重要な事項については教員会議や事務連絡会で周知し，全教職員が学内の情報を共有するとともに，教職員の管理運営に対する意識の向上を図っている。

外部評価については，教育関係者や地方自治体等の研究機関の研究者等の有識者で構成される評議員会を開催し，教育目標・計画，自己評価，中期計画，その他本校の運営に関する重要事項について審議・評価を受け，その意見等を協議会で検討のうえ，その結果，改善等を要する事項については担当する委員会等に要請している。また，改善等の実施及びその結果については各委員会から協議会に報告するとともに次回の評議員会で報告（回答）している。

また，自己点検・評価，評議員会，ＪＡＢＥＥの受審，学生へのアンケート調査，及び企業へのアンケートを行い，本校の活動状況を確認するとともに，その調査結果により改善等を要する事項については担当の委員会等で検討し実施している。

以上より，本校の目的を達成するために必要な管理運営体制は整っている。